

平成29年度 市民意識調査

住民主体のまちづくりについて

平成29年12月

北九州市

は じ め に

北九州市では、市民の皆さまからのご意見を今後の市政運営に役立てるため、毎年「市政評価と市政要望」及び「特定テーマ」についての市民意識調査を実施しています。

「特定テーマ」調査では市政の重要事項を取り上げており、本年度は、「住民主体のまちづくりについて」というテーマで調査を行い報告書にまとめました。

北九州市は、平成 20 年 12 月にまちづくりの指針となる北九州市基本構想・基本計画「元気発進！北九州」プランを策定し（平成 25 年 12 月改訂）、「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を目標に掲げ、その目標を実現するため、「人づくり」、「暮らしづくり」、「産業づくり」、「都市づくり」といった 4 つの基本方針を定めてまちづくりを進めています。

今回の調査で寄せられた市民の皆さまからのご意見は、今後の北九州市のまちづくりのための施策の検討に役立てていきたいと思っております。

アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼申し上げます。

平成 29 年 12 月

北九州市長 北 橋 健 治

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 調査の実施.....	3
4 回収結果.....	3
II 調査結果	4
1 回答者の構成.....	4
2 調査の結果.....	5
(1) 地域活動について	5
(2) 自治会・町内会について	33
(3) 住民主体によるまちづくりについて	49
(4) 市民センターについて	56
(5) 生涯学習について	78
(6) シビックプライドについて	89
3 まとめ.....	101

資 料 編

1 クロス集計表.....	104
2 調査票.....	128

住民主体のまちづくりについて

I 調査の概要

1 調査の目的

北九州市では、毎年度、特定テーマについて市民意識調査を実施している。平成 29 年度は「住民主体のまちづくりについて」というテーマで実施した。

本市では、「住民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成 22 年 10 月に施行している。また、昨今発生した東日本大震災や熊本地震、数々の風水害などに対する避難や復旧活動において、地域住民の方々が日ごろの地域づくり・まちづくり活動を活かして協力し合う姿は、多くの人々の共感を得ている。加えて、現代における地域課題は多様化しており、防犯・防災、子育て環境の問題、高齢者の一人暮らしの不安など様々で、協力しあえる地域のつながり（共助の力）が見直されてきている。

そこで今年度は「住民主体のまちづくりについて」をテーマとし、誰もが安心・快適に暮らせる地域社会のための、住民が主役の地域づくり・まちづくり活動等について、市民の意見を把握し、今後の施策検討の資料とする。

2 調査の設計

(1) 調査票

この調査は、郵送調査で実施するため、設問をできるだけ整理し、以下 6 分野 24 項目の設問で構成した。

なお、問 1 については、例年実施している「市政評価と市政要望」の設問であり、別途報告書作成を行っている。（調査票：巻末参照）

今年度調査項目

(1) 地域活動について		
問 2		① 地域活動への参加経験
	副問 2-1	② 参加した地域活動の内容
	副問 2-2	③ 地域活動に参加している理由
	副問 2-3	④ 地域活動に参加したきっかけ
	副問 2-4	⑤ 地域活動を行う場として利用したことのある施設
	副問 2-5	⑥ 地域活動に参加したことがない理由
問 3		⑦ これからの地域活動を支える団体
(2) 自治会・町内会について		
問 4		① 自治会・町内会の活動内容の認知度
	副問 4-1	② 住民への周知度の高い活動内容
問 5		③ 自治会・町内会への加入状況
	副問 5-1	④ 自治会・町内会に加入していない理由
(3) 住民主体によるまちづくりについて		
問 6		① 住民主体によるまちづくりの必要性に対する認識
	副問 6-1	② 住民主体によるまちづくりへの必要性が感じられない理由

(4) 市民センターについて	
問 7	① 市民センターの利用状況
副問 7-1	② 市民センターの利用頻度
副問 7-2	③ 市民センターの主な利用用途
副問 7-3	④ 市民センターを利用しない理由
副問 7-4	⑤ 市民センターを利用しない人が要望するサービス
(5) 生涯学習について	
問 8	① 生涯学習で学んだ知識や技術等を、地域や社会の課題解決に活かす方法
問 9	② 学習機会を提供する機関が相互連携を進める有効な方法
副問 9-1	③ 各機関の相互連携を進める仕組みづくりに必要なこと
(6) シビックプライドについて	
問 10	① 自分が住むまたは活動する身近な地域への愛着度
副問 10-1	② 自分が住むまたは活動する身近な地域に愛着を感じる理由
問 11	③ シビックプライド醸成のために必要なこと
フェイスシート	性別・年齢・居住歴・職業

(2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人

※平成 27 年度までは 20 歳以上の男女を対象としていたが、公職選挙法等の一部を改正する法律（平成 27 年 6 月 19 日公布、平成 28 年 6 月 19 日施行）の施行に合わせ、前年度より 18 歳以上の男女を対象としている。

[標本抽出]

平成 29 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳（815,012 人）をもとに 3,000 人を等間隔抽出

行政区別の設定標本数

区 分	居 住 人 口	抽 出 標 本 数	
		抽 出 標 本 数	構 成 比
門司区	86,631 人	315 人	10.5 %
小倉北区	155,812	519	17.3
小倉南区	177,375	656	21.9
若松区	70,838	253	8.4
八幡東区	59,084	215	7.2
八幡西区	214,908	847	28.2
戸畑区	50,364	195	6.5
計	815,012	3,000	100.0

(注 1) 居住人口は 18 歳以上人口で抽出リード件数である。

(注 2) 構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

(3) 調査方法

郵送調査法

3 調査の実施

この調査は、北九州市市民文化スポーツ局市民総務部広聴課と市民文化スポーツ局地域・人づくり部地域振興課及び市民文化スポーツ局地域・人づくり部生涯学習課が主体となり実施したものである。

(1) 実査

調査開始 平成 29 年 6 月 22 日

督促状発送 平成 29 年 7 月 6 日

回答期限 平成 29 年 7 月 17 日

(2) 集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

※サンプル数が少ない属性（10 人未満）の回答については、コメントでは触れないこととする。

4 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,205 票であった。このうち有効回収数は、1,201 票であり、有効回収率は 40.0%であった。（前年度は有効回収数 1,322 票、有効回収率は 44.1%）

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区分	設定標本数	有効回収数	有効回収率
門司区	315 人	117 人	37.1 %
小倉北区	519	198	38.2
小倉南区	656	266	40.5
若松区	253	111	43.9
八幡東区	215	101	47.0
八幡西区	847	325	38.4
戸畑区	195	83	42.6
計	3,000	1,201	40.0

II 調査結果

1 回答者の構成

有効回収数 1,201 票の標本は下表のとおりである。

回答者の構成

N : 1,201

性別	男性	女性	無回答				
	38.2% 459人	60.1% 722人	1.7% 20人				
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	6.5% 78人	10.4% 125人	13.7% 164人	16.7% 201人	23.8% 286人	27.6% 331人	1.3% 16人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	1.6% 19人	0.8% 10人	0.6% 7人	2.9% 35人	4.0% 48人	9.7% 117人	12.1% 145人
	30年以上	無回答					
	67.0% 805人	1.2% 15人					
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	5.9% 71人	0.8% 10人	24.8% 298人	4.2% 51人	0.5% 6人	14.8% 178人	17.7% 212人
	学生	無職	その他	無回答			
	1.9% 23人	22.7% 273人	5.2% 63人	1.3% 16人			
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	9.7% 117人	16.5% 198人	22.1% 266人	9.2% 111人	8.4% 101人	27.1% 325人	6.9% 83人

なお、平成 29 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による 18 歳以上の北九州市民の性別、年齢、住居区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 8.5 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 10・20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 7.2 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 6.3 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

平成 29 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による人口構成 (18 歳以上)

性別	男	女					
	46.7%	53.3%					
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
	13.7%	13.4%	16.5%	13.9%	17.5%	24.9%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.6%	19.1%	21.8%	8.7%	7.3%	26.4%	6.2%

2 調査の結果

(1) 地域活動について

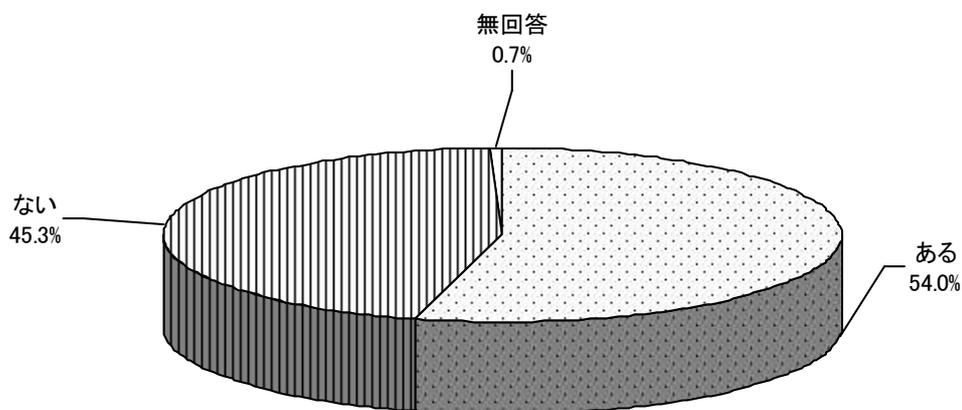
① 地域活動への参加経験

問2 あなたは、これまでに「地域活動」に参加したことがありますか。どちらか1つだけ選んでください。

N : 1,201 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 ある	649	54.0
2 ない	544	45.3
無回答	8	0.7

◇ 地域活動に参加したことが、
1位 「ある」(54.0%)
2位 「ない」(45.3%)

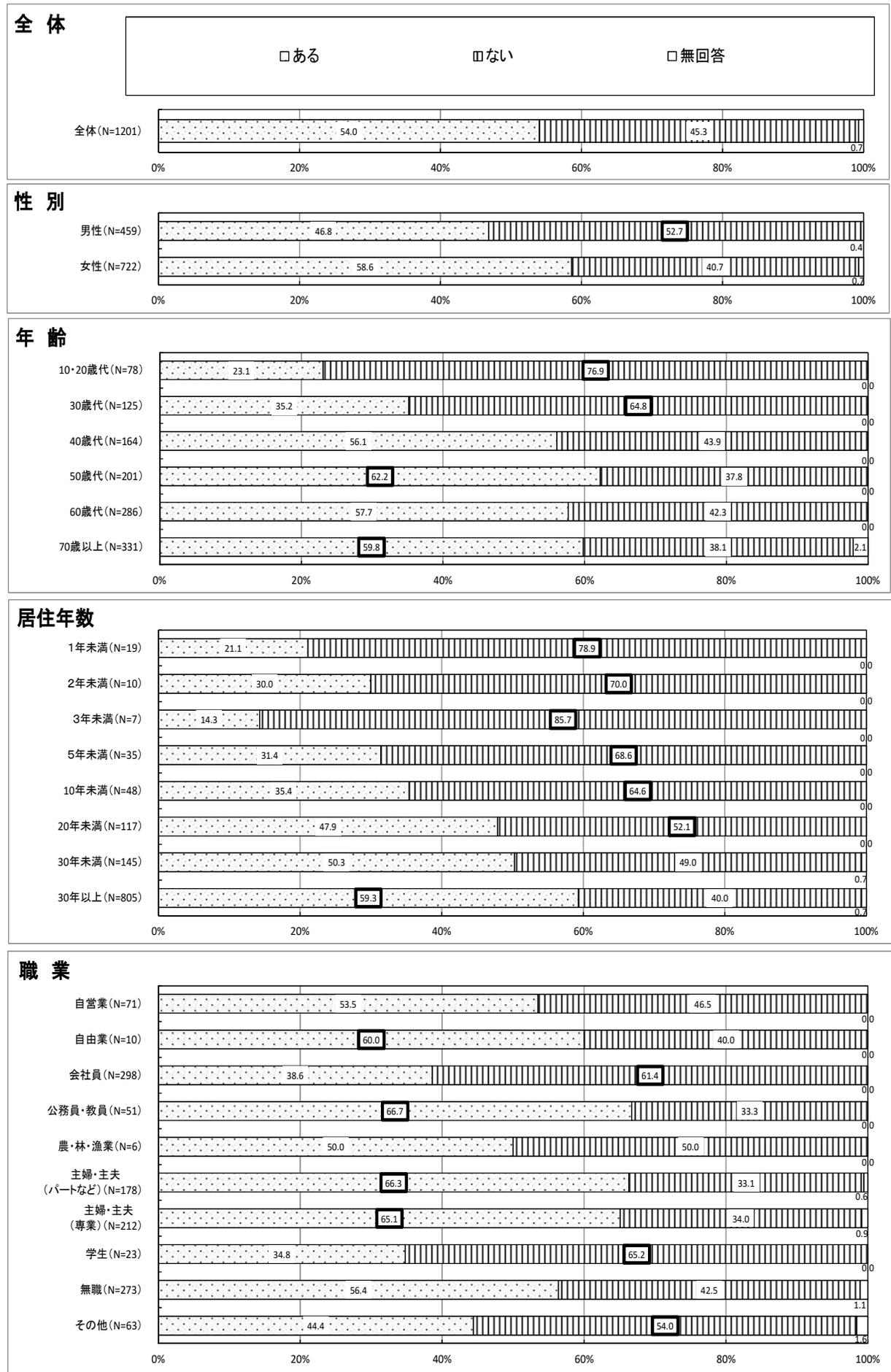


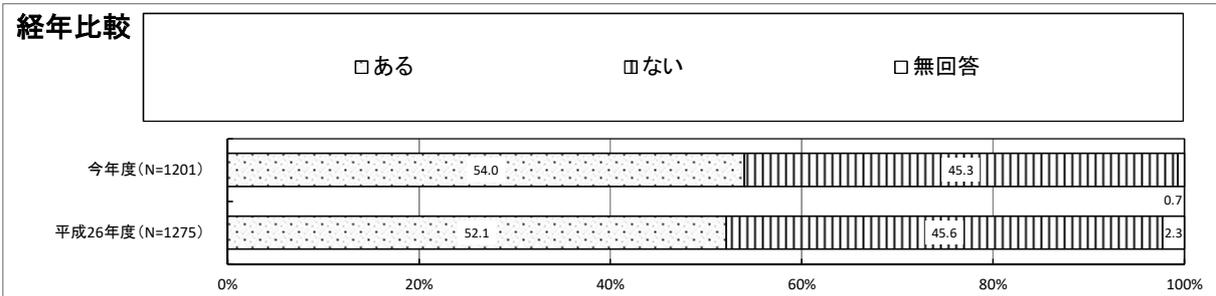
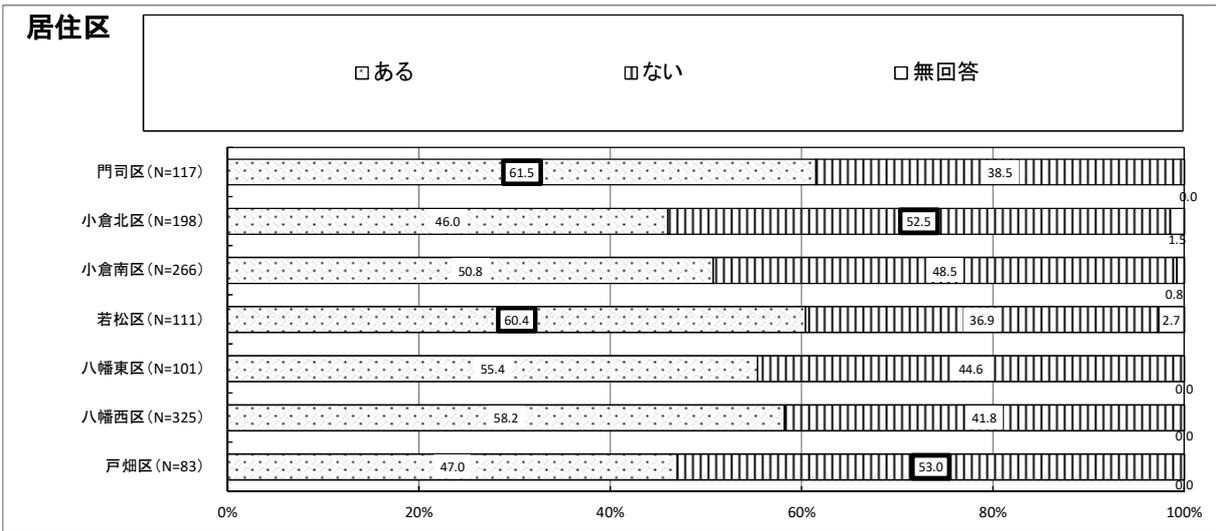
□ ある

□ ない

□ 無回答

① 地域活動への参加経験





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動への参加経験

【全体的傾向】

地域活動への参加経験は、「ある」(54.0%)が「ない」(45.3%)を上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、男性は「ない」(52.7%)が「ある」(46.8%)を上回ったのに対し、女性は「ある」(58.6%)が「ない」(40.7%)を上回っている。
- 年齢別にみると、10・20歳代及び30歳代は「ない」が「ある」を上回り、10・20歳代(76.9%)で特に高くなっている。一方、40歳代以上の層では「ある」が「ない」を上回っている。
- 居住年数別にみると、20年未満以下の層では「ない」が「ある」を上回り、1年未満(78.9%)及び2年未満(70.0%)で特に高くなっている。一方、30年未満及び30年以上では「ある」が「ない」を上回り、「ある」は30年以上(59.3%)で最も高くなっている。
- 職業別にみると、会社員、学生及びその他で「ない」が「ある」を上回ったが、それ以外の職業では、「ある」が「ない」を上回っており、公務員(66.7%)、主婦・主夫(パートなど)(66.3%)及び主婦・主夫(専業)(65.1%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、小倉北区及び戸畑区では「ない」が「ある」を上回ったが、それ以外の地区では「ある」が「ない」を上回っており、門司区(61.5%)及び若松区(60.4%)で特に高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「ある」は今年度(54.0%)が平成26年度(52.1%)を上回っている。一方、「ない」は今年度(45.3%)と平成26年度(45.6%)でほぼ同水準であった。

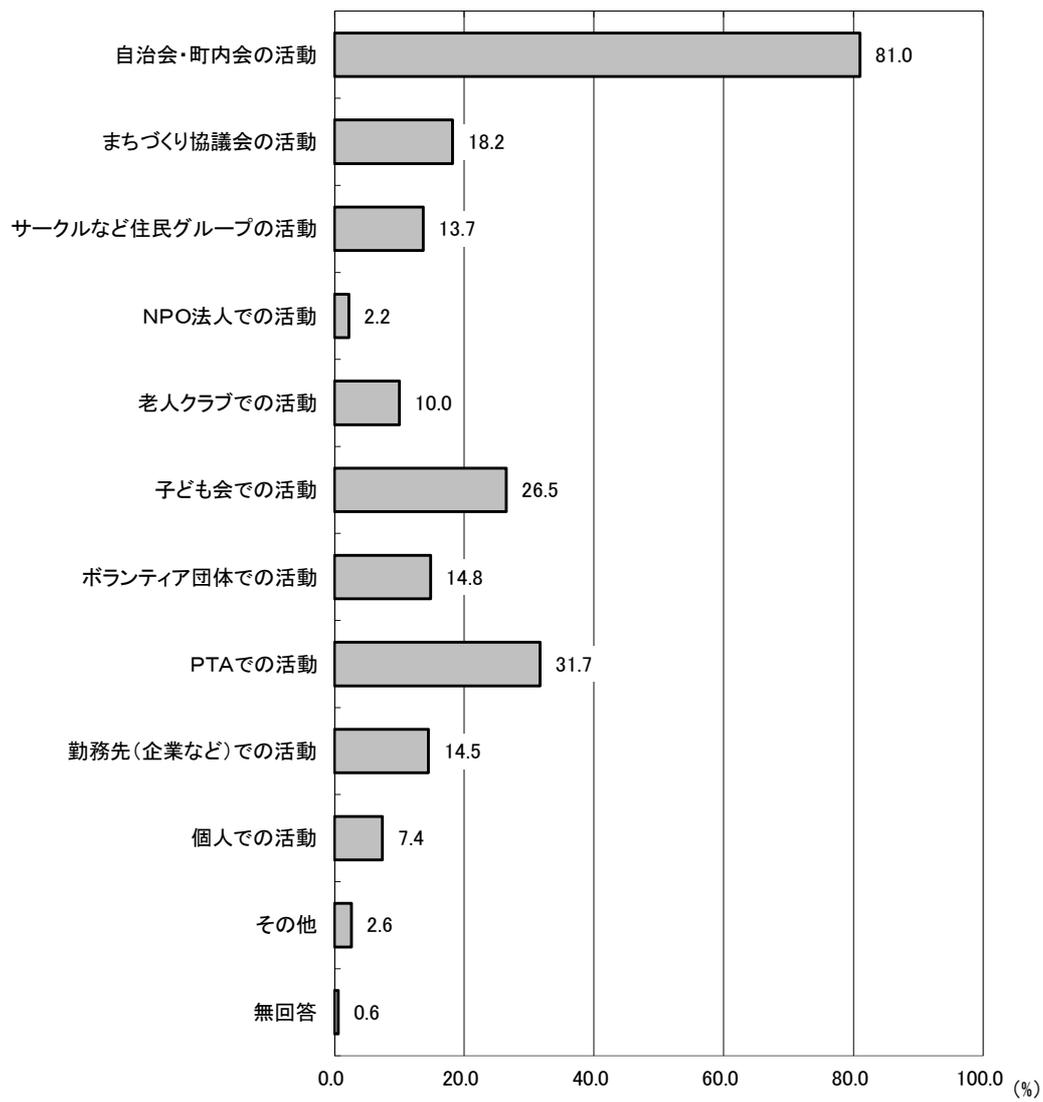
② 参加した地域活動の内容

副問2-1 問2で「1」を選んだ方におたずねします。どのような「地域活動」に参加しましたか。活動回数の多いものを3つまで選んでください。

N : 649人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会・町内会の活動	526	81.0
2 まちづくり協議会の活動	118	18.2
3 サークルなど住民グループの活動	89	13.7
4 NPO法人での活動	14	2.2
5 老人クラブでの活動	65	10.0
6 子ども会での活動	172	26.5
7 ボランティア団体での活動	96	14.8
8 PTAでの活動	206	31.7
9 勤務先（企業など）での活動	94	14.5
10 個人での活動	48	7.4
11 その他	17	2.6
無回答	4	0.6

- ◇ 参加した地域活動の内容は、
- 1位 「自治会・町内会の活動」(81.0%)
 - 2位 「PTAでの活動」(31.7%)
 - 3位 「子ども会での活動」(26.5%)



② 参加した地域活動の内容

		サンプル数	自治会・町内会の活動	まちづくり協議会の活動	サークルなど住民グループの活動	NPO法人での活動	老人クラブでの活動	子ども会での活動	ボランティア団体での活動	P T Aでの活動	勤務先（企業など）での活動	個人での活動	その他	無回答
全体		649	81.0	18.2	13.7	2.2	10.0	26.5	14.8	31.7	14.5	7.4	2.6	0.6
性別	男性	215	81.4	22.3	9.8	3.7	9.3	18.6	14.0	21.9	20.0	6.5	4.2	0.9
	女性	423	80.6	15.8	15.8	1.4	10.4	31.0	15.4	37.4	12.1	7.8	1.7	0.2
年齢別	10・20歳代	18	44.4	5.6	16.7	5.6	0.0	22.2	33.3	5.6	33.3	11.1	0.0	0.0
	30歳代	44	45.5	9.1	4.5	9.1	0.0	27.3	15.9	29.5	29.5	4.5	4.5	0.0
	40歳代	92	75.0	10.9	2.2	2.2	2.2	31.5	5.4	54.3	21.7	5.4	3.3	0.0
	50歳代	125	87.2	10.4	8.0	2.4	2.4	32.8	9.6	47.2	21.6	3.2	1.6	0.8
	60歳代	165	85.5	20.6	15.8	1.8	6.7	28.5	19.4	31.5	11.5	9.7	1.8	0.6
	70歳以上	198	87.4	27.8	23.2	0.5	24.2	19.2	17.2	15.2	4.5	9.1	3.5	0.5
居住年数別	1年未満	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	11	36.4	0.0	18.2	0.0	0.0	36.4	18.2	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0
	10年未満	17	64.7	11.8	11.8	5.9	0.0	11.8	17.6	41.2	29.4	5.9	5.9	0.0
	20年未満	56	80.4	17.9	12.5	3.6	7.1	25.0	14.3	35.7	8.9	3.6	0.0	0.0
	30年未満	73	74.0	12.3	13.7	5.5	4.1	32.9	13.7	37.0	16.4	8.2	1.4	1.4
	30年以上	477	84.3	20.1	14.0	1.3	11.9	26.0	15.3	30.8	14.3	8.0	2.9	0.4
職業別	自営業	38	73.7	13.2	10.5	5.3	10.5	13.2	7.9	21.1	21.1	18.4	5.3	2.6
	自由業	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	会社員	115	69.6	13.0	3.5	1.7	2.6	21.7	12.2	37.4	32.2	3.5	1.7	0.9
	公務員・教員	34	76.5	0.0	2.9	5.9	0.0	17.6	17.6	29.4	41.2	2.9	8.8	0.0
	農・林・漁業	3	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	118	86.4	18.6	12.7	0.0	5.9	40.7	7.6	55.1	11.0	2.5	1.7	0.0
	主婦・主夫(専業)	138	87.7	19.6	19.6	1.4	15.9	31.9	14.5	34.8	4.3	10.1	0.7	0.0
	学生	8	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	無職	154	85.7	22.7	19.5	1.9	16.2	20.8	20.8	13.0	7.8	8.4	3.9	0.6
	その他	28	71.4	35.7	21.4	10.7	7.1	25.0	28.6	28.6	7.1	14.3	3.6	0.0
居住区別	門司区	72	79.2	11.1	12.5	4.2	5.6	27.8	15.3	26.4	15.3	8.3	4.2	2.8
	小倉北区	91	79.1	16.5	16.5	0.0	18.7	20.9	15.4	29.7	18.7	9.9	4.4	0.0
	小倉南区	135	83.0	14.1	15.6	3.7	12.6	40.7	15.6	34.8	10.4	9.6	1.5	0.7
	若松区	67	82.1	19.4	16.4	1.5	11.9	14.9	16.4	26.9	16.4	7.5	1.5	0.0
	八幡東区	56	89.3	33.9	14.3	5.4	8.9	10.7	17.9	17.9	8.9	5.4	1.8	0.0
	八幡西区	189	81.0	15.9	10.6	0.5	6.3	28.6	10.6	37.6	14.3	5.3	3.2	0.5
	戸畑区	39	69.2	35.9	12.8	2.6	5.1	20.5	23.1	35.9	23.1	5.1	0.0	0.0
経年比較														
平成26年度	全体	664	86.4	20.5	12.7	3.5	10.2	28.0	14.6	28.3	14.5	4.1	0.8	0.5

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

参加した地域活動の内容

【全体的傾向】

地域活動に参加したことがある人の、参加した地域活動は「自治会・町内会の活動」(81.0%)が最も高く、次いで「PTAでの活動」(31.7%)、「子ども会での活動」(26.5%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、「自治会・町内会の活動」は男女ともに8割以上と圧倒的に高い。「PTAでの活動」は女性(37.4%)が男性(21.9%)を上回り、「子ども会での活動」も女性(31.0%)が男性(18.6%)を上回っている。
- 年齢別にみると、「自治会・町内会の活動」は50歳代(87.2%)及び70歳以上(87.4%)で特に高く、「PTAでの活動」は40歳代(54.3%)及び50歳代(47.2%)、「子ども会での活動」は40歳代(31.5%)及び50歳代(32.8%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、「自治会・町内会の活動」は主婦・主夫(パートなど)(86.4%)及び主婦・主夫(専業)(87.7%)、「PTAでの活動」は主婦・主夫(パートなど)(55.1%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「自治会・町内会の活動」は八幡東区(89.3%)で最も高く、戸畑区(69.2%)で最も低く、その差は20.1ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「自治会・町内会の活動」は今年度(81.0%)が平成26年度(86.4%)を下回ったのに対し、「PTAでの活動」は今年度(31.7%)が平成26年度(28.3%)を上回っている。また、「子ども会での活動」は今年度(26.5%)が平成26年度(28.0%)を下回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 神社氏子総代
- ・ 青年会議所での活動
- ・ 消防団
- ・ 清掃活動
- ・ いのちの電話の相談員

③ 地域活動に参加している理由

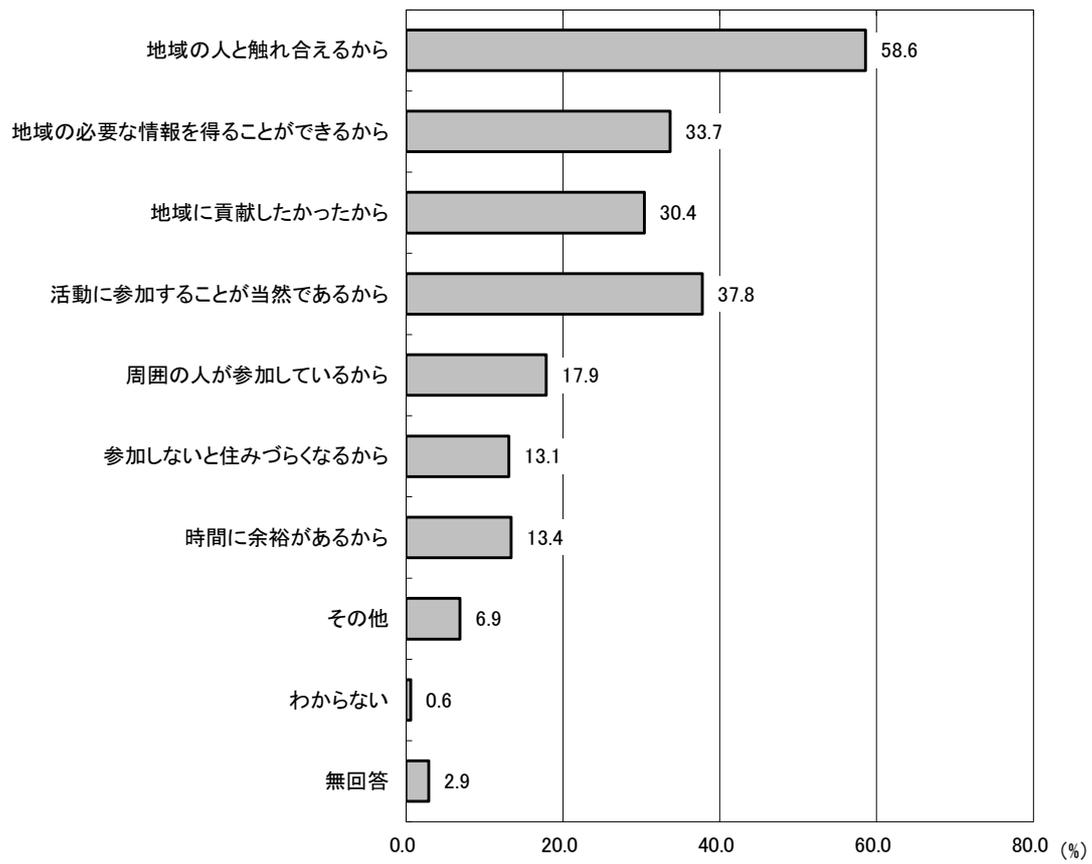
副問2-2 問2で「1」を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加している理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

N : 649 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 地域の人と触れ合えるから	380	58.6
2 地域の必要な情報を得ることができるから	219	33.7
3 地域に貢献したかったから	197	30.4
4 活動に参加することが当然であるから	245	37.8
5 周囲の人が参加しているから	116	17.9
6 参加しないと住みづらくなるから	85	13.1
7 時間に余裕があるから	87	13.4
8 その他	45	6.9
9 わからない	4	0.6
無回答	19	2.9

◇ 地域活動に参加している理由は、

- 1位 「地域の人と触れ合えるから」(58.6%)
- 2位 「活動に参加することが当然であるから」(37.8%)
- 3位 「地域の必要な情報を得ることができるから」(33.7%)



③ 地域活動に参加している理由

		サンプル数	地域の人と触れ合えるから	地域の必要な情報を得ることができるから	地域に貢献したかったから	活動に参加することが当然であるから	周囲の人が参加しているから	参加しないと住みづらくなるから	時間に余裕があるから	その他	わからない	無回答
全体		649	58.6	33.7	30.4	37.8	17.9	13.1	13.4	6.9	0.6	2.9
性別	男性	215	60.0	25.6	39.5	40.5	16.3	12.1	14.0	4.7	0.5	2.3
	女性	423	57.9	38.1	26.2	35.7	18.7	13.9	12.5	8.0	0.7	3.3
年齢別	10・20歳代	18	44.4	5.6	38.9	11.1	22.2	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0
	30歳代	44	45.5	22.7	29.5	22.7	18.2	6.8	6.8	4.5	4.5	4.5
	40歳代	92	52.2	30.4	23.9	27.2	18.5	17.4	2.2	15.2	1.1	3.3
	50歳代	125	43.2	28.8	26.4	37.6	20.0	20.0	3.2	8.8	0.8	4.0
	60歳代	165	60.6	36.4	33.3	43.6	17.0	13.3	19.4	4.8	0.0	3.0
	70歳以上	198	74.2	41.9	33.3	42.4	16.7	9.1	20.7	3.5	0.0	2.0
居住年数別	1年未満	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	2年未満	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	5年未満	11	54.5	36.4	27.3	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
	10年未満	17	76.5	35.3	23.5	35.3	17.6	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0
	20年未満	56	53.6	30.4	25.0	30.4	17.9	17.9	7.1	7.1	1.8	3.6
	30年未満	73	49.3	26.0	27.4	31.5	20.5	12.3	11.0	6.8	0.0	4.1
	30年以上	477	60.4	36.1	32.3	40.0	17.6	13.2	14.5	6.5	0.6	2.9
職業別	自営業	38	60.5	26.3	31.6	34.2	15.8	15.8	7.9	5.3	0.0	5.3
	自由業	6	66.7	33.3	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	115	43.5	26.1	31.3	37.4	20.0	14.8	3.5	7.0	2.6	2.6
	公務員・教員	34	41.2	14.7	50.0	35.3	2.9	11.8	8.8	8.8	0.0	2.9
	農・林・漁業	3	66.7	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	118	55.9	34.7	18.6	40.7	22.9	16.9	7.6	10.2	0.8	1.7
	主婦・主夫(専業)	138	64.5	50.7	29.7	32.6	19.6	11.6	18.8	6.5	0.0	2.9
	学生	8	50.0	0.0	50.0	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	無職	154	70.1	31.2	33.8	39.6	15.6	11.7	22.1	3.9	0.0	3.2
その他	28	60.7	42.9	25.0	42.9	14.3	10.7	17.9	10.7	0.0	7.1	
居住区別	門司区	72	59.7	31.9	37.5	41.7	13.9	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2
	小倉北区	91	63.7	36.3	40.7	29.7	14.3	12.1	16.5	2.2	2.2	2.2
	小倉南区	135	63.7	34.1	32.6	40.0	18.5	11.1	15.6	8.1	0.7	3.0
	若松区	67	44.8	34.3	20.9	44.8	20.9	16.4	13.4	7.5	0.0	3.0
	八幡東区	56	57.1	46.4	25.0	37.5	14.3	14.3	16.1	7.1	0.0	1.8
	八幡西区	189	56.6	28.6	24.9	39.7	19.0	16.9	11.1	7.9	0.5	3.7
	戸畑区	39	61.5	35.9	35.9	20.5	25.6	5.1	15.4	5.1	0.0	0.0
経年比較												
平成26年度	全体	664	58.0	33.1	34.2	40.8	14.8	11.4	10.4	5.3	0.2	5.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加している理由

【全体的傾向】

地域活動に参加したことがある人の、地域活動に参加している理由は「地域の人と触れ合えるから」(58.6%)が最も高く、次いで「活動に参加することが当然であるから」(37.8%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」(33.7%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、「地域に貢献したかったから」は男性(39.5%)が女性(26.2%)を上回っている。
- 年齢別にみると、「地域の人と触れ合えるから」は70歳以上(74.2%)で特に高く、「活動に参加することが当然であるから」は60歳代(43.6%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」は70歳以上(41.9%)で特に高くなっている。
- 居住年数別にみると、「地域の人と触れ合えるから」は10年未満(76.5%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、「地域の人と触れ合えるから」は無職(70.1%)及び主婦・主夫(専業)(64.5%)で特に高く、「地域の必要な情報を得ることができるから」は主婦・主夫(専業)(50.7%)、「地域に貢献したかったから」は公務員・教員(50.0%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「地域の人と触れ合えるから」は小倉北区及び小倉南区(ともに63.7%)で最も高く、若松区(44.8%)で最も低く、その差は18.9ポイントとなっている。一方、「活動に参加することが当然であるから」は若松区(44.8%)で最も高く、戸畑区(20.5%)で最も低く、その差は24.3ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「地域の人と触れ合えるから」は今年度(58.6%)と平成26年度(58.0%)でほぼ同水準であったが、「活動に参加することが当然であるから」は今年度(37.8%)が平成26年度(40.8%)を下回っている。また、「地域の必要な情報を得ることができるから」も今年度(33.7%)と平成26年度(33.1%)でほぼ同水準であった。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 町内会(自治会)のイベントが楽しいから
- ・ 生涯の勉強になるから
- ・ 当番が順番にまわってくるから
- ・ 企業の組合活動で支部委員の立場があるから
- ・ 子どもが育つにあたって、地域の人達から声をかけられたり、地域での行事に参加したりすることは不可欠なことだと考えているから

④ 地域活動に参加したきっかけ

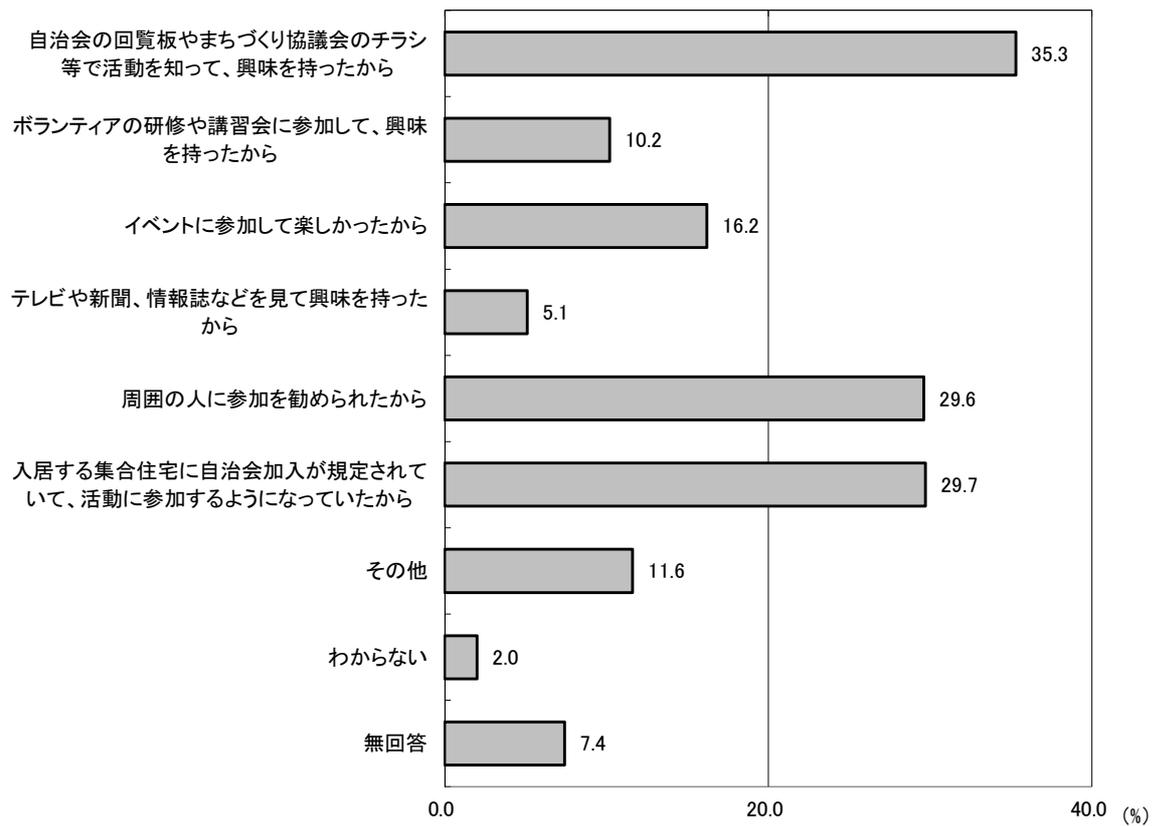
副問2-3 問2で「1」を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加したきっかけは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

N : 649 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	229	35.3
2 ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	66	10.2
3 イベントに参加して楽しかったから	105	16.2
4 テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	33	5.1
5 周囲の人に参加を勧められたから	192	29.6
6 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから	193	29.7
7 その他	75	11.6
8 わからない	13	2.0
無回答	48	7.4

◇ 地域活動に参加したきっかけは、

- 1位 「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(35.3%)
- 2位 「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(29.7%)
- 3位 「周囲の人に参加を勧められたから」(29.6%)



④ 地域活動に参加したきっかけ

	サンプル数	自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	イベントに参加して楽しかったから	テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	周囲の人に参加を勧められたから	入居する集合住宅に自治会加入が規定されていたから、活動に参加するようになって	その他	わからない	無回答	
全体	649	35.3	10.2	16.2	5.1	29.6	29.7	11.6	2.0	7.4	
性別	男性	215	35.3	9.3	14.9	7.0	29.8	28.8	15.3	0.9	4.7
	女性	423	35.2	10.6	17.3	4.0	29.8	30.5	9.2	2.4	8.5
年齢別	10・20歳代	18	16.7	0.0	44.4	0.0	50.0	0.0	5.6	11.1	5.6
	30歳代	44	22.7	0.0	6.8	4.5	50.0	18.2	11.4	4.5	9.1
	40歳代	92	16.3	8.7	10.9	4.3	31.5	29.3	20.7	4.3	4.3
	50歳代	125	26.4	10.4	12.8	2.4	21.6	46.4	12.0	0.0	8.0
	60歳代	165	40.6	9.1	15.8	4.8	30.9	37.6	8.5	0.6	7.3
	70歳以上	198	49.5	14.6	21.2	7.6	26.3	18.7	9.6	2.0	8.1
居住年数別	1年未満	4	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	11	9.1	9.1	9.1	0.0	36.4	9.1	36.4	0.0	0.0
	10年未満	17	29.4	5.9	17.6	5.9	47.1	35.3	17.6	5.9	0.0
	20年未満	56	32.1	10.7	16.1	0.0	19.6	25.0	12.5	3.6	8.9
	30年未満	73	23.3	8.2	13.7	5.5	30.1	39.7	4.1	4.1	9.6
	30年以上	477	38.2	10.7	17.0	5.7	29.6	29.1	11.7	1.5	7.3
職業別	自営業	38	21.1	5.3	21.1	5.3	21.1	28.9	15.8	5.3	10.5
	自由業	6	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	会社員	115	21.7	7.0	9.6	5.2	35.7	28.7	16.5	3.5	5.2
	公務員・教員	34	32.4	5.9	14.7	2.9	23.5	35.3	14.7	2.9	2.9
	農・林・漁業	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	主婦・主夫(パートなど)	118	28.0	11.0	16.9	2.5	28.8	35.6	11.0	1.7	11.0
	主婦・主夫(専業)	138	46.4	11.6	15.2	2.9	28.3	34.8	8.0	1.4	6.5
	学生	8	12.5	0.0	87.5	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	154	44.2	11.0	16.9	9.1	31.8	25.3	9.7	1.3	5.8
その他	28	46.4	17.9	17.9	7.1	21.4	17.9	10.7	0.0	14.3	
居住区別	門司区	72	38.9	8.3	15.3	2.8	29.2	26.4	13.9	2.8	6.9
	小倉北区	91	31.9	11.0	17.6	4.4	34.1	23.1	15.4	5.5	5.5
	小倉南区	135	42.2	12.6	18.5	5.2	31.1	27.4	8.1	1.5	5.2
	若松区	67	37.3	9.0	22.4	9.0	23.9	26.9	9.0	3.0	10.4
	八幡東区	56	35.7	10.7	12.5	5.4	33.9	37.5	7.1	0.0	7.1
	八幡西区	189	29.6	6.9	13.8	4.2	24.9	36.0	13.8	1.1	10.1
	戸畑区	39	35.9	20.5	12.8	7.7	41.0	23.1	10.3	0.0	2.6
経年比較											
平成26年度	全体	664	37.7	9.3	13.1	3.2	26.7	30.4	8.7	2.0	11.3

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加したきっかけ

【全体的傾向】

地域活動に参加したことがある人の、地域活動に参加したきっかけは「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(35.3%)が最も高く、次いで「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(29.7%)、「周囲の人に参加を勧められたから」(29.6%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は70歳以上(49.5%)及び60歳代(40.6%)で特に高く、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は50歳代(46.4%)及び60歳代(37.6%)、「周囲の人に参加を勧められたから」は10・20歳代及び30歳代(ともに50%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は主婦・主夫(専業)(46.4%)及び無職(44.2%)で特に高く、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は主婦・主夫(パートなど)(35.6%)、公務員・教員(35.3%)及び主婦・主夫(専業)(34.8%)、「周囲の人に参加を勧められたから」は会社員(35.7%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は小倉南区(42.2%)で特に高く、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は八幡東区(37.5%)及び八幡西区(36.0%)、「周囲の人に参加を勧められたから」は戸畑区(41.0%)で特に高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は今年度(35.3%)が平成26年度(37.7%)を下回っている。また、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は今年度(29.7%)と平成26年度(30.4%)でほぼ同水準であった。一方、「周囲の人に参加を勧められたから」は今年度(29.6%)が平成26年度(26.7%)を上回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 子供が生まれたから
- ・ 子供会の役員になり地域活動の楽しさを知ったから
- ・ 学校の先生に紹介されたから
- ・ 昔から地元に住んでいて参加することが当然だと思っていたから
- ・ 職場に案内が掲示されていたから

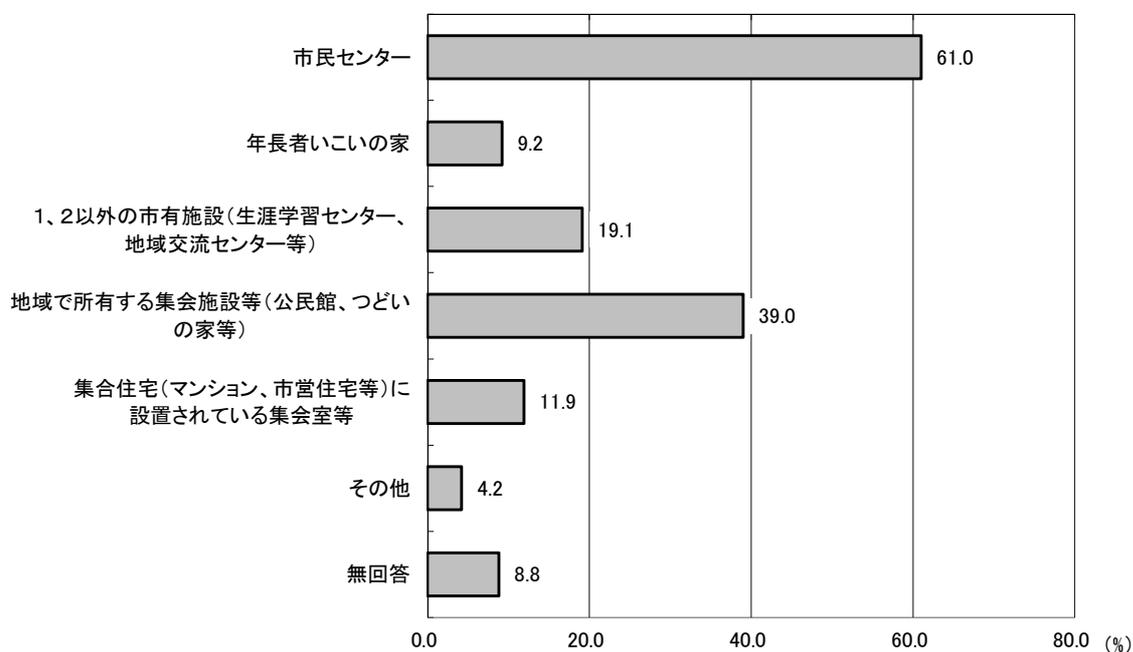
⑤ 地域活動を行う場として利用したことのある施設

副問2-4 問2で「1」を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」を行う場として利用したことのある施設をよく使うものから2つまで選んでください。

N : 649 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 市民センター	396	61.0
2 年長者いこいの家	60	9.2
3 1、2以外の市有施設（生涯学習センター、地域交流センター等）	124	19.1
4 地域で所有する集会施設等（公民館、つどいの家等）	253	39.0
5 集合住宅（マンション、市営住宅等）に設置されている集会室等	77	11.9
6 その他	27	4.2
無回答	57	8.8

◇ 地域活動を行う場として利用したことのある施設は、
 1位 「市民センター」(61.0%)
 2位 「地域で所有する集会施設等（公民館、つどいの家等）」(39.0%)
 3位 「1、2（市民センター、年長者いこいの家）以外の市有施設（生涯学習センター、地域交流センター等）」(19.1%)



⑤ 地域活動を行う場として利用したことがある施設

	サンプル数	市民センター	年長者いきいの家	1、2以外の市有施設（生涯学習センター、地域交流センター等）	地域の家等	集合住宅（マンション、市営住宅等）に設置されている集会所等	その他	無回答	
全体	649	61.0	9.2	19.1	39.0	11.9	4.2	8.8	
性別	男性	215	56.3	10.7	16.7	44.7	11.6	7.9	6.5
	女性	423	63.6	8.5	20.6	36.6	12.1	2.4	9.5
年齢別	10・20歳代	18	50.0	5.6	16.7	44.4	0.0	11.1	5.6
	30歳代	44	50.0	0.0	18.2	34.1	11.4	6.8	13.6
	40歳代	92	59.8	6.5	22.8	34.8	14.1	7.6	4.3
	50歳代	125	61.6	8.8	17.6	36.8	16.0	2.4	11.2
	60歳代	165	57.6	7.3	21.2	38.2	15.2	3.6	10.9
	70歳以上	198	67.7	15.2	17.2	44.4	6.6	3.0	6.1
居住年数別	1年未満	4	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	3年未満	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	11	72.7	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
	10年未満	17	70.6	0.0	23.5	35.3	17.6	5.9	0.0
	20年未満	56	66.1	10.7	16.1	39.3	3.6	7.1	8.9
	30年未満	73	54.8	8.2	17.8	42.5	15.1	0.0	12.3
	30年以上	477	60.8	10.1	19.7	39.6	12.4	4.4	8.4
職業別	自営業	38	47.4	7.9	15.8	28.9	15.8	5.3	10.5
	自由業	6	50.0	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	会社員	115	51.3	5.2	18.3	37.4	13.9	5.2	10.4
	公務員・教員	34	58.8	5.9	17.6	29.4	11.8	14.7	5.9
	農・林・漁業	3	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	118	69.5	7.6	21.2	37.3	12.7	1.7	10.2
	主婦・主夫（専業）	138	66.7	13.0	17.4	43.5	11.6	2.2	5.8
	学生	8	50.0	12.5	25.0	62.5	0.0	25.0	0.0
	無職	154	63.6	11.7	20.8	40.9	9.1	3.2	7.8
その他	28	57.1	7.1	21.4	39.3	10.7	7.1	17.9	
居住区別	門司区	72	59.7	2.8	18.1	41.7	6.9	12.5	6.9
	小倉北区	91	52.7	14.3	23.1	29.7	22.0	6.6	6.6
	小倉南区	135	54.8	11.1	20.7	55.6	7.4	2.2	7.4
	若松区	67	59.7	10.4	20.9	47.8	10.4	3.0	6.0
	八幡東区	56	69.6	7.1	14.3	25.0	12.5	1.8	14.3
	八幡西区	189	64.0	9.0	16.9	37.6	11.6	2.1	11.6
	戸畑区	39	79.5	5.1	20.5	10.3	15.4	5.1	5.1

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの（「その他」、「無回答」は除く）

地域活動を行う場として利用したことのある施設

【全体的傾向】

地域活動に参加したことがある人の、地域活動を行う場として利用したことのある施設は「市民センター」(61.0%)が最も高く、次いで「地域で所有する集会施設等(公民館、つどいの家等)」(39.0%)、「1、2(市民センター、年長者いこいの家)以外の市有施設(生涯学習センター、地域交流センター等)」(19.1%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、「地域で所有する集会施設等(公民館、つどいの家等)」は男性(44.7%)が女性(36.6%)を上回っている。
- 年齢別にみると、「市民センター」は70歳以上(67.7%)、「地域で所有する集会施設等(公民館、つどいの家等)」は10・20歳代及び70歳以上(ともに44.4%)で特に高くなっている。
- 居住年数別にみると、「市民センター」は5年未満(72.7%)、10年未満(70.6%)及び20年未満(66.1%)で特に高く、居住年数が少ない人に高い傾向が見られる。
- 職業別にみると、「市民センター」は主婦・主夫(パートなど)(69.5%)及び主婦・主夫(専業)(66.7%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「市民センター」は戸畑区(79.5%)で最も高く、小倉北区(52.7%)で最も低く、その差は26.8ポイントとなっている。また、「地域で所有する集会施設等(公民館、つどいの家等)」は小倉南区(55.6%)で最も高く、戸畑区(10.3%)で最も低く、その差は45.3ポイントと大きな差が見られる。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 老人ホーム
- ・ 公園
- ・ 消防団
- ・ 個人の住宅
- ・ 学童保育所

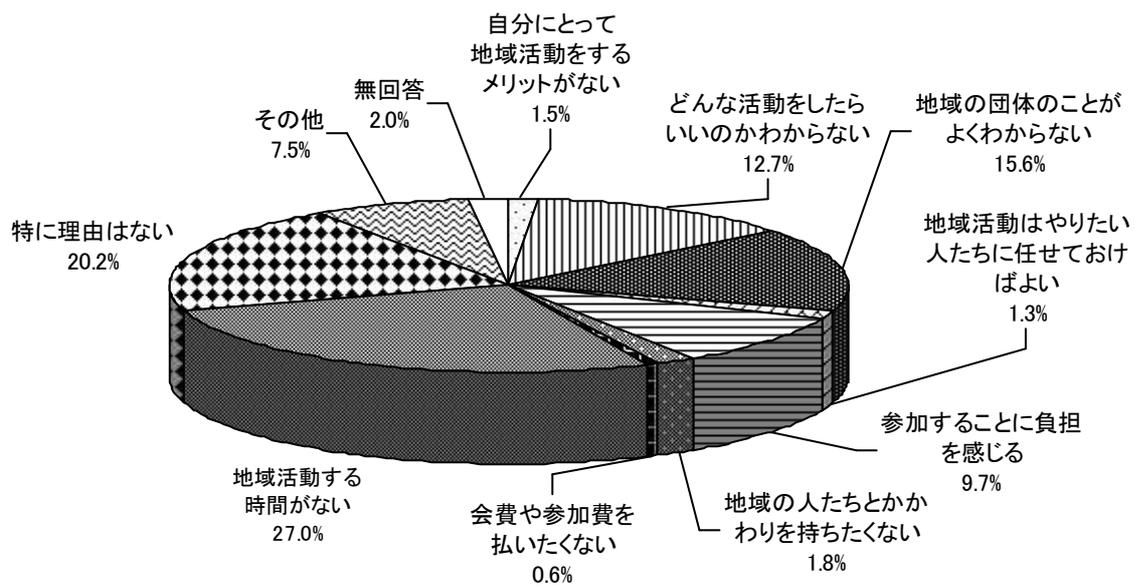
⑥ 地域活動に参加したことがない理由

副問2-5 問2で「2」を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 544 人

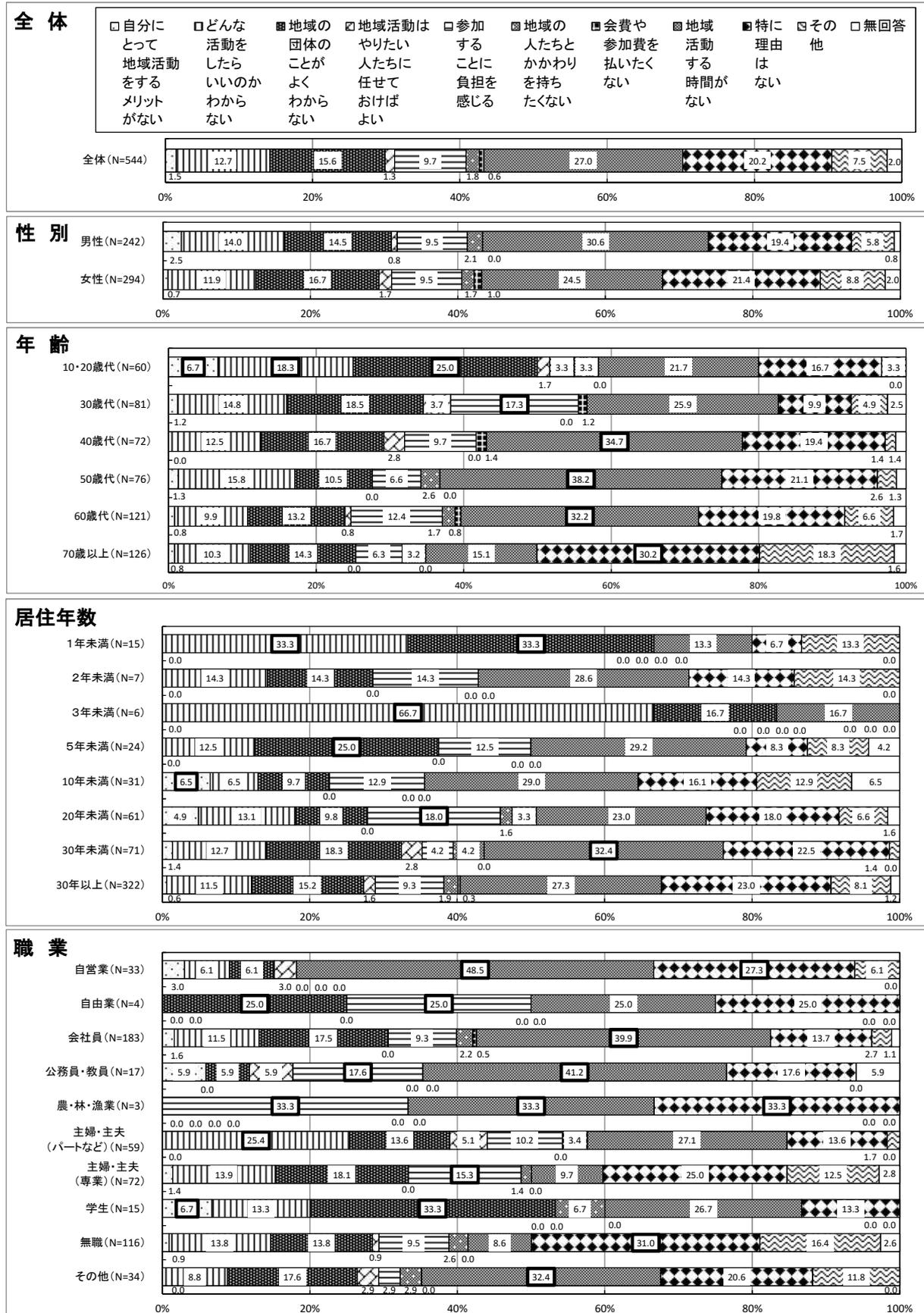
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自分にとって地域活動をするメリットがない	8	1.5
2 どんな活動をしたらいいのかわからない	69	12.7
3 地域の団体のことがよくわからない	85	15.6
4 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい	7	1.3
5 参加することに負担を感じる	53	9.7
6 地域の人たちとかかわりを持ちたくない	10	1.8
7 会費や参加費を払いたくない	3	0.6
8 地域活動する時間がない	147	27.0
9 特に理由はない	110	20.2
10 その他	41	7.5
無回答	11	2.0

- ◇ 地域活動に参加したことがない理由は、
- 1位 「地域活動する時間がない」(27.0%)
 - 2位 「特に理由はない」(20.2%)
 - 3位 「地域の団体のことがよくわからない」(15.6%)



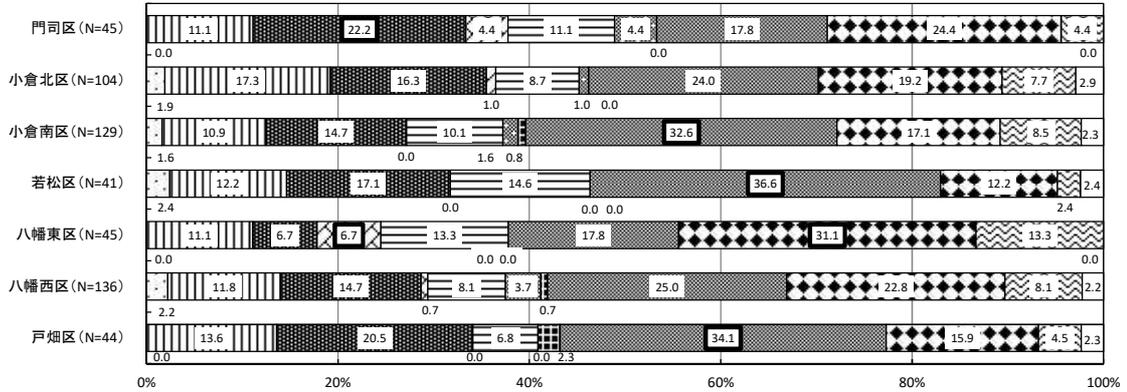
- | | |
|------------------------|-------------------------|
| □ 自分にとって地域活動をするメリットがない | ▣ どんな活動をしたらいいのかわからない |
| ▤ 地域の団体のことがよくわからない | ▥ 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい |
| ▦ 参加することに負担を感じる | ▧ 地域の人たちとかかわりを持ちたくない |
| ▨ 会費や参加費を払いたくない | ▩ 地域活動する時間がない |
| ▪ 特に理由はない | □ その他 |
| □ 無回答 | |

⑥ 地域活動に参加したことがない理由



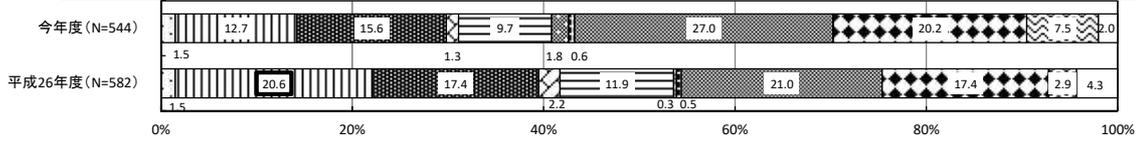
居住区

- 自分にとって地域活動をするメリットがない
- いろんな活動をしたらいいのかわからない
- 地域の団体のことがよくわからない
- 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい
- 参加することに負担を感じる
- 地域の人たちとかがわりを持ちたくない
- 会費や参加費を払いたくない
- 地域活動をする時間が足りない
- 特に理由はない
- その他
- 無回答



経年比較

- 自分にとって地域活動をするメリットがない
- いろんな活動をしたらいいのかわからない
- 地域の団体のことがよくわからない
- 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい
- 参加することに負担を感じる
- 地域の人たちとかがわりを持ちたくない
- 会費や参加費を払いたくない
- 地域活動をする時間が足りない
- 特に理由はない
- その他
- 無回答



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加したことがない理由

【全体的傾向】

地域活動に参加したことがない理由は「地域活動する時間がない」(27.0%)が最も高く、次いで「特に理由はない」(20.2%)、「地域の団体のことがよくわからない」(15.6%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「地域活動する時間がない」は50歳代(38.2%)、40歳代(34.7%)及び60歳代(32.2%)で特に高く、「特に理由はない」は70歳以上(30.2%)、「地域の団体のことがよくわからない」は10・20歳代(25.0%)で特に高くなっている。
- 居住年数別にみると、「地域活動する時間がない」は30年未満(32.4%)で特に高く、「地域の団体のことがよくわからない」は1年未満(33.3%)及び5年未満(25.0%)、「どんな活動をしたらいいのかわからない」は1年未満(33.3%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、「地域活動する時間がない」は自営業(48.5%)、公務員・教員(41.2%)及び会社員(39.9%)で特に高くなっている。また、「地域の団体のことがよくわからない」は学生(33.3%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「地域活動する時間がない」は若松区(36.6%)で最も高く、門司区及び八幡東区(ともに17.8%)で最も低く、その差は18.8ポイントとなっている。また、「地域の団体のことがよくわからない」は門司区(22.2%)で最も高く、八幡東区(6.7%)で最も低く、その差は15.5ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「地域活動する時間がない」は今年度(27.0%)が平成26年度(21.0%)を上回ったほか、「特に理由はない」も今年度(20.2%)が平成26年度(17.4%)を上回っている。一方、「地域の団体のことがよくわからない」は今年度(15.6%)が平成26年度(17.4%)を下回っている。また、「どんな活動をしたらいいのかわからない」は今年度(12.7%)が平成26年度(20.6%)を大きく下回り、その差は7.9ポイントとなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 病後のリハビリ生活で車椅子ではどこにも行けない
- ・ 新興住宅地のため自治会などが無い
- ・ 団体活動は負担になるため、登山道の整備や清掃などの個人的な活動を実践している
- ・ どのような活動があるか分からない

⑦ これからの地域活動を支える団体

問3 これからの地域活動を支える大切な団体は何と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N : 1,201人

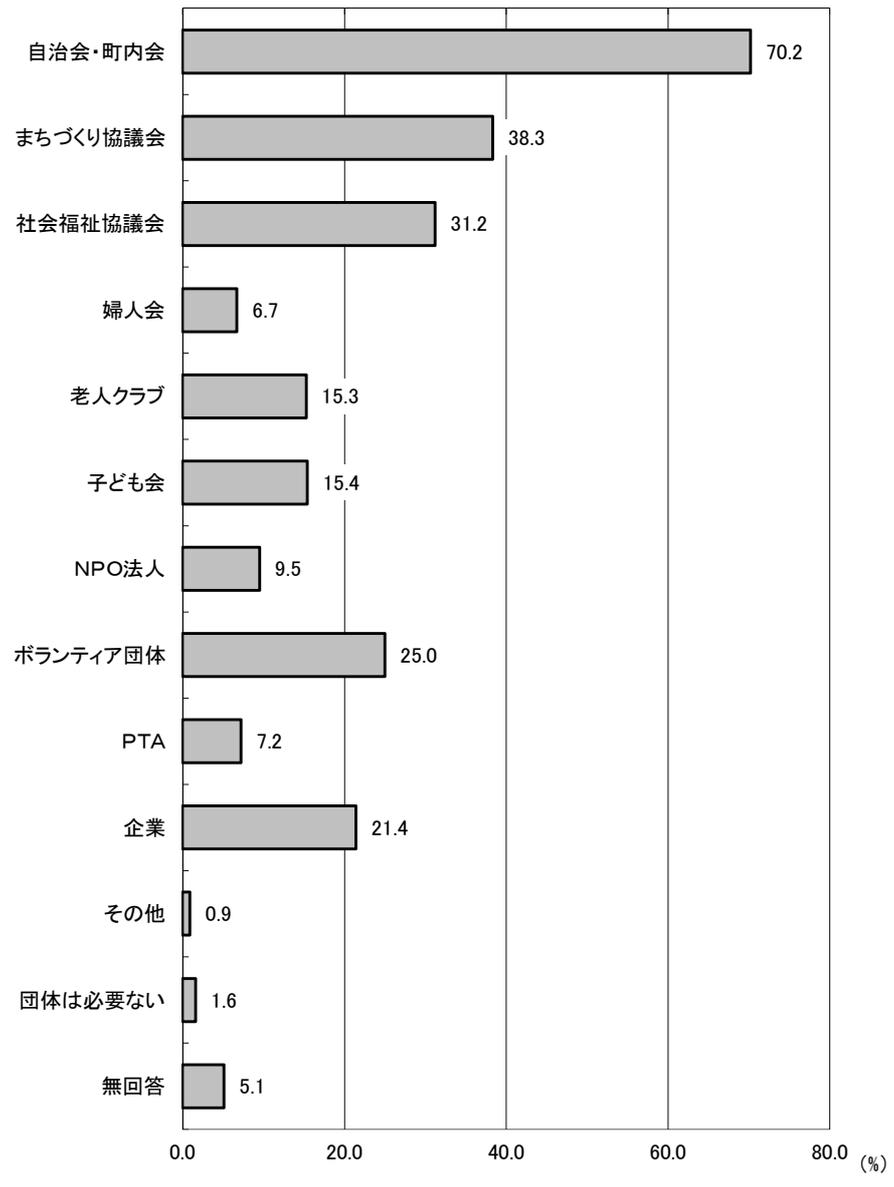
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会・町内会	843	70.2
2 まちづくり協議会	460	38.3
3 社会福祉協議会	375	31.2
4 婦人会	81	6.7
5 老人クラブ	184	15.3
6 子ども会	185	15.4
7 NPO法人	114	9.5
8 ボランティア団体	300	25.0
9 PTA	86	7.2
10 企業	257	21.4
11 その他	11	0.9
12 団体は必要ない	19	1.6
無回答	61	5.1

◇ これからの地域活動を支える大切な団体は、

1位 「自治会・町内会」(70.2%)

2位 「まちづくり協議会」(38.3%)

3位 「社会福祉協議会」(31.2%)



⑦ これからの地域活動を支える団体

		サンプル数	自治会・町内会	まちづくり協議会	社会福祉協議会	婦人会	老人クラブ	子ども会	NPO法人	ボランティア団体	P T A	企業	その他	団体は必要ない	無回答
全体		1,201	70.2	38.3	31.2	6.7	15.3	15.4	9.5	25.0	7.2	21.4	0.9	1.6	5.1
性別	男性	459	70.8	35.5	30.1	5.4	15.3	13.9	11.3	27.7	5.0	25.3	1.1	2.2	3.7
	女性	722	70.4	40.2	32.0	7.6	15.7	16.8	8.4	23.8	8.6	19.1	0.7	1.2	5.3
年齢別	10・20歳代	78	60.3	33.3	32.1	3.8	19.2	25.6	9.0	30.8	3.8	33.3	2.6	3.8	0.0
	30歳代	125	60.0	30.4	18.4	2.4	8.8	29.6	8.8	25.6	8.8	33.6	3.2	4.0	2.4
	40歳代	164	69.5	34.8	22.0	6.7	14.6	18.3	12.2	26.8	18.3	22.0	0.6	1.8	3.0
	50歳代	201	66.2	45.8	31.8	7.0	14.4	12.4	10.0	20.4	6.0	26.4	0.0	1.5	4.5
	60歳代	286	75.9	36.7	35.3	6.6	14.0	15.4	10.8	31.5	6.3	22.4	0.3	1.0	2.4
	70歳以上	331	75.2	41.1	36.6	9.1	19.6	8.8	7.3	20.5	3.3	10.0	0.9	0.6	9.7
居住年数別	1年未満	19	78.9	31.6	52.6	5.3	21.1	26.3	0.0	26.3	0.0	31.6	0.0	0.0	0.0
	2年未満	10	60.0	40.0	10.0	0.0	20.0	0.0	40.0	50.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	3年未満	7	42.9	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0
	5年未満	35	57.1	40.0	28.6	5.7	20.0	20.0	8.6	22.9	5.7	28.6	0.0	2.9	2.9
	10年未満	48	64.6	35.4	29.2	4.2	14.6	25.0	14.6	16.7	10.4	16.7	2.1	0.0	8.3
	20年未満	117	70.1	34.2	26.5	6.0	19.7	24.8	12.8	22.2	9.4	20.5	1.7	1.7	1.7
	30年未満	145	64.8	36.6	30.3	6.2	14.5	15.9	14.5	25.5	7.6	24.1	1.4	2.8	5.5
	30年以上	805	72.7	39.3	32.0	7.2	14.7	13.5	7.8	26.1	6.8	20.5	0.6	1.5	5.1
職業別	自営業	71	66.2	32.4	19.7	9.9	21.1	12.7	8.5	18.3	7.0	35.2	2.8	2.8	2.8
	自由業	10	70.0	40.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	298	65.4	35.6	24.8	4.7	12.4	19.1	12.8	30.9	6.0	32.6	1.3	2.0	2.3
	公務員・教員	51	72.5	31.4	25.5	5.9	19.6	17.6	3.9	23.5	7.8	19.6	0.0	5.9	7.8
	農・林・漁業	6	83.3	50.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	178	71.9	42.7	35.4	5.6	10.1	17.4	7.9	24.7	14.6	19.1	0.6	0.6	5.1
	主婦・主夫(専業)	212	75.9	41.5	32.1	9.4	15.1	15.6	5.7	17.9	10.4	11.3	0.9	0.5	5.7
	学生	23	69.6	43.5	30.4	0.0	21.7	17.4	8.7	43.5	4.3	39.1	0.0	4.3	0.0
	無職	273	72.9	38.1	38.1	7.7	19.4	9.9	11.0	24.5	2.2	16.1	0.7	0.7	7.3
	その他	63	63.5	36.5	34.9	3.2	15.9	20.6	14.3	30.2	4.8	15.9	0.0	3.2	3.2
居住区別	門司区	117	70.9	37.6	30.8	6.8	12.0	20.5	8.5	23.1	7.7	17.9	0.9	3.4	4.3
	小倉北区	198	64.1	34.3	27.3	8.6	19.7	12.1	8.6	22.7	5.1	27.3	1.0	1.0	7.1
	小倉南区	266	74.4	36.8	30.1	6.4	15.0	12.4	15.0	27.1	8.6	23.7	0.4	1.1	6.0
	若松区	111	73.0	45.0	36.9	8.1	15.3	9.9	3.6	27.0	7.2	14.4	0.9	1.8	5.4
	八幡東区	101	67.3	37.6	37.6	4.0	10.9	21.8	13.9	28.7	6.9	13.9	3.0	2.0	4.0
	八幡西区	325	71.1	40.0	31.1	6.2	16.6	14.8	7.1	23.7	7.1	20.6	0.6	1.5	4.3
	戸畑区	83	66.3	38.6	30.1	7.2	10.8	27.7	7.2	24.1	7.2	26.5	1.2	1.2	2.4
経年比較															
平成26年度	全体	1,275	75.4	41.5	26.9	5.3	16.5	15.1	7.7	22.8	6.9	19.8	0.5	2.4	4.9

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

これからの地域活動を支える団体

【全体的傾向】

これからの地域活動を支える団体については「自治会・町内会」(70.2%)が最も高く、次いで「まちづくり協議会」(38.3%)、「社会福祉協議会」(31.2%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「自治会・町内会」は60歳代(75.9%)及び70歳以上(75.2%)で特に高く、年配の世代に高い傾向が見られる。一方、「企業」は30歳代(33.6%)及び10・20歳代(33.3%)で特に高く、若い世代に高い傾向が見られる。
- 職業別にみると、「自治会・町内会」は主婦・主夫(専業)(75.9%)で特に高く、「まちづくり協議会」は学生(43.5%)、「社会福祉協議会」は自由業(40.0%)及び無職(38.1%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「まちづくり協議会」は若松区(45.0%)、「社会福祉協議会」は八幡東区(37.6%)及び若松区(36.9%)で特に高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「自治会・町内会」は今年度(70.2%)が平成26年度(75.4%)を下回ったほか、「まちづくり協議会」も今年度(38.3%)が平成26年度(41.5%)を下回っている。一方、「社会福祉協議会」は今年度(31.2%)が平成26年度(26.9%)を上回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ よくわからない
- ・ 行政や警察
- ・ 北九州市
- ・ 老人大学

(2) 自治会・町内会について

① 自治会・町内会の活動内容の認知度

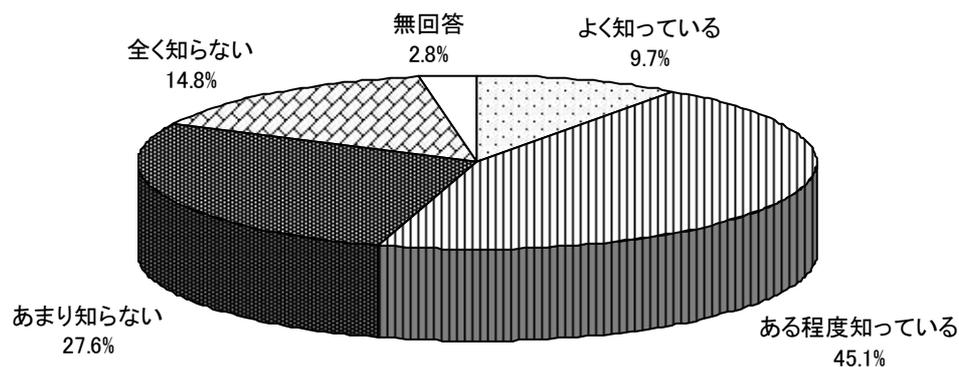
問4 あなたの住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,201 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 よく知っている	116	9.7
2 ある程度知っている	542	45.1
3 あまり知らない	331	27.6
4 全く知らない	178	14.8
無回答	34	2.8

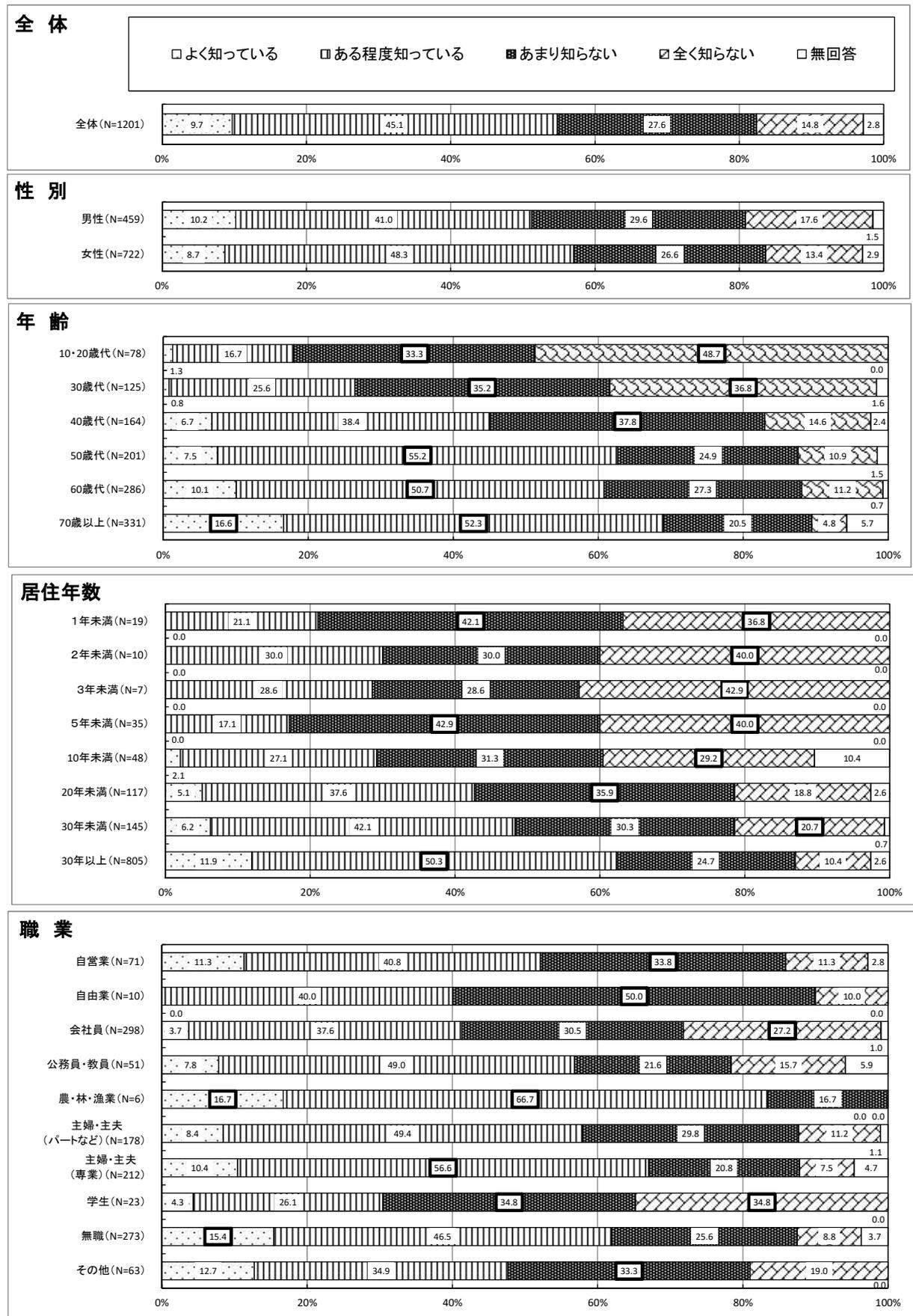
◇ 自治会・町内会の活動内容を知っているかは、

- 1位 「ある程度知っている」(45.1%)
- 2位 「あまり知らない」(27.6%)
- 3位 「全く知らない」(14.8%)



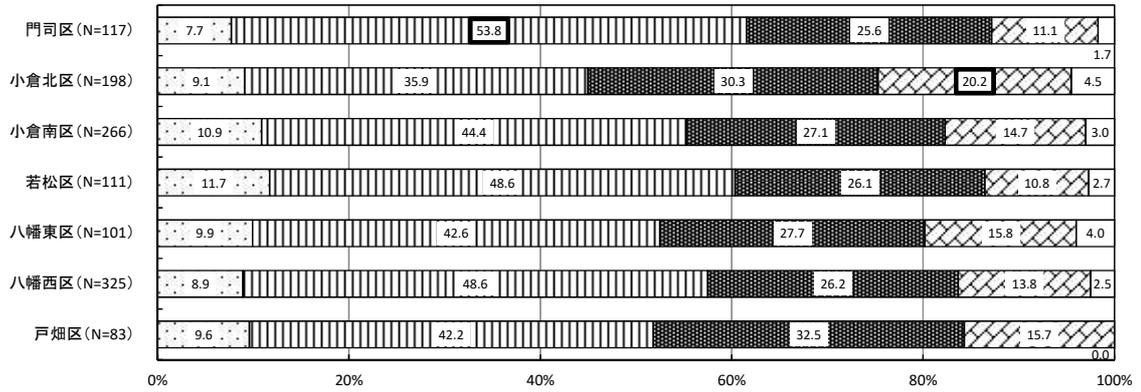
□ よく知っている □ ある程度知っている ■ あまり知らない □ 全く知らない □ 無回答

① 自治会・町内会の活動内容の認知度



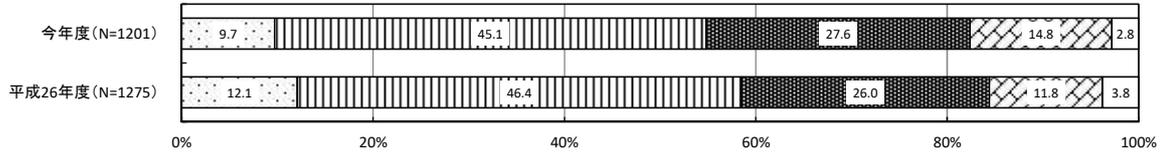
居住区

□ よく知っている □ ある程度知っている ■ あまり知らない ▨ 全く知らない □ 無回答



経年比較

□ よく知っている □ ある程度知っている ■ あまり知らない ▨ 全く知らない □ 無回答



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

自治会・町内会の活動内容の認知度

【全体的傾向】

自治会・町内会の活動内容を知っているかは、「ある程度知っている」(45.1%)が最も高く、次いで「あまり知らない」(27.6%)、「全く知らない」(14.8%)と続いている。「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた『知っている』は、54.8%と過半数を占めている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、50歳代以上の層では『知っている』が、「あまり知らない」と「全く知らない」をあわせた『知らない』を上回っている。一方、40歳代以下の層では『知らない』が『知っている』を上回り、10・20歳代(82.0%)で特に高くなっており、若い世代に認知度が低い傾向が見られた。
- 居住年数別にみると、30年以上では『知っている』が『知らない』を上回っているが、これ以外の層では『知らない』が『知っている』を上回り、5年未満(82.9%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、自由業、会社員、学生及びその他で『知らない』が『知っている』を上回り、学生(69.6%)で特に高くなっている。一方、それ以外の職業では『知っている』が『知らない』を上回っている。
- 居住区別にみると、『知っている』は門司区(61.5%)及び若松区(60.3%)で高かったのに対し、『知らない』は小倉北区(50.5%)及び戸畑区(48.2%)で高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、『知っている』は今年度(54.8%)が平成26年度(58.5%)を下回っている。一方、『知らない』は今年度(42.4%)が平成26年度(37.8%)を上回っている。

② 住民への周知度の高い活動内容

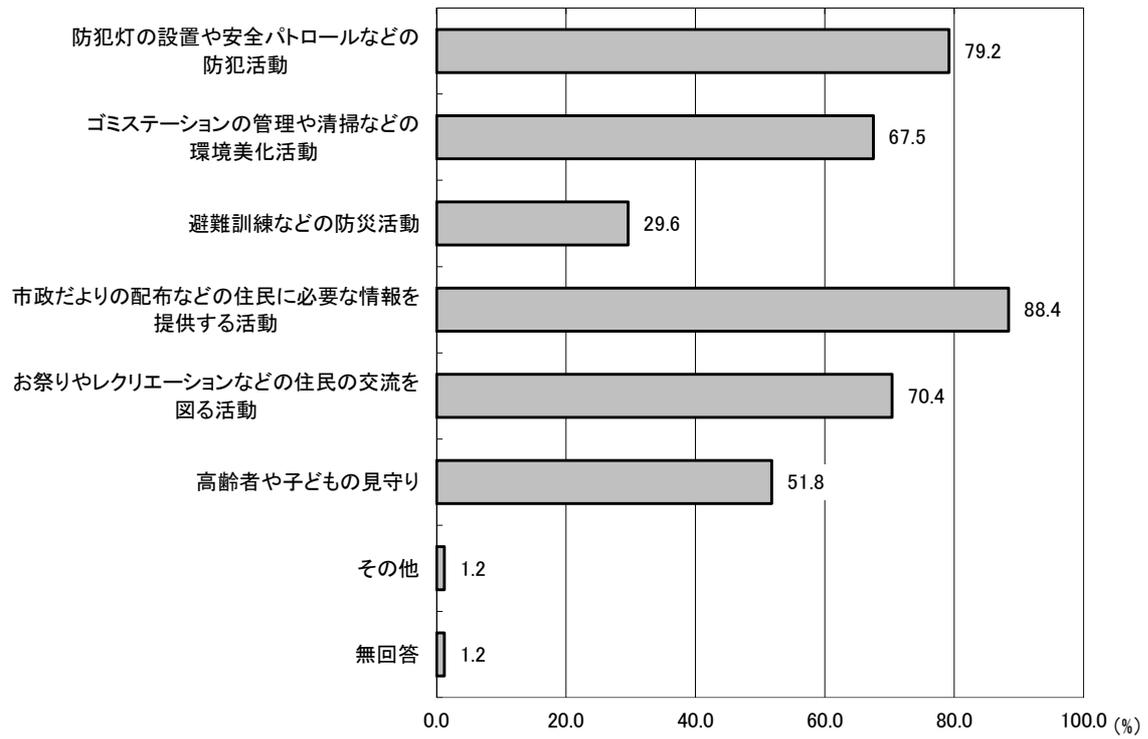
副問4-1 問4で「1」または「2」を選んだ方におたずねします。あなたが知っている地域の自治会・町内会の活動に当てはまるものをすべて選んでください。

N : 658 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	521	79.2
2 ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動	444	67.5
3 避難訓練などの防災活動	195	29.6
4 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	582	88.4
5 お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	463	70.4
6 高齢者や子どもの見守り	341	51.8
7 その他	8	1.2
無回答	8	1.2

◇ 住民への周知度の高い活動内容は、

- 1位 「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(88.4%)
- 2位 「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(79.2%)
- 3位 「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(70.4%)



② 住民への周知度の高い活動内容

		サンプル数	防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動	避難訓練などの防災活動	市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	高齢者や子どもの見守り	その他	無回答
全体		658	79.2	67.5	29.6	88.4	70.4	51.8	1.2	1.2
性別	男性	235	76.6	65.5	27.7	85.5	68.9	48.1	0.9	1.3
	女性	412	80.3	68.4	30.8	91.0	71.8	54.9	1.5	1.2
年齢別	10・20歳代	14	42.9	57.1	21.4	71.4	71.4	50.0	0.0	0.0
	30歳代	33	72.7	63.6	15.2	93.9	84.8	54.5	6.1	0.0
	40歳代	74	85.1	70.3	31.1	95.9	82.4	66.2	0.0	0.0
	50歳代	126	82.5	70.6	33.3	95.2	77.8	50.8	0.8	0.8
	60歳代	174	80.5	66.1	32.2	89.1	71.3	48.3	1.7	1.1
	70歳以上	228	76.8	67.1	27.6	82.9	60.1	51.3	0.9	2.2
居住年数別	1年未満	4	25.0	25.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	3	66.7	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	3年未満	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	6	100.0	83.3	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	10年未満	14	78.6	85.7	35.7	78.6	85.7	50.0	0.0	0.0
	20年未満	50	76.0	64.0	16.0	88.0	76.0	58.0	0.0	2.0
	30年未満	70	70.0	68.6	27.1	88.6	80.0	48.6	0.0	1.4
	30年以上	501	80.8	67.7	31.9	89.0	67.5	53.1	1.6	1.2
職業別	自営業	37	83.8	73.0	32.4	81.1	62.2	43.2	0.0	5.4
	自由業	4	100.0	75.0	75.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	会社員	123	72.4	65.0	23.6	87.8	72.4	48.8	0.0	1.6
	公務員・教員	29	86.2	75.9	41.4	96.6	96.6	62.1	3.4	0.0
	農・林・漁業	5	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	103	85.4	70.9	34.0	93.2	74.8	59.2	2.9	1.0
	主婦・主夫(専業)	142	83.1	69.0	33.8	90.8	71.8	57.7	1.4	1.4
	学生	7	57.1	42.9	28.6	71.4	71.4	42.9	0.0	0.0
	無職	169	74.0	64.5	24.9	85.8	63.3	49.7	1.2	0.6
	その他	30	83.3	66.7	23.3	90.0	66.7	36.7	0.0	0.0
居住区別	門司区	72	80.6	59.7	18.1	86.1	59.7	43.1	1.4	0.0
	小倉北区	89	78.7	69.7	20.2	84.3	68.5	52.8	0.0	0.0
	小倉南区	147	81.0	68.7	34.0	89.1	78.9	57.8	2.0	1.4
	若松区	67	83.6	68.7	29.9	92.5	67.2	55.2	0.0	1.5
	八幡東区	53	79.2	66.0	37.7	88.7	67.9	49.1	1.9	3.8
	八幡西区	187	77.5	71.1	34.8	89.8	71.7	49.2	1.6	1.6
	戸畑区	43	72.1	55.8	20.9	86.0	65.1	53.5	0.0	0.0
経年比較										
平成26年度	全体	746	80.3	70.9	25.1	87.9	74.3	50.9	0.9	0.5

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住民への周知度の高い活動内容

【全体的傾向】

知っている自治会・町内会の活動内容を尋ねたところ、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(88.4%)が最も高く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(79.2%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(70.4%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は40歳代(95.9%)、50歳代(95.2%)及び30歳代(93.9%)で特に高く、「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は40歳代(85.1%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は30歳代(84.8%)、40歳代(82.4%)及び50歳代(77.8%)で特に高くなっている。
- 職業別にみると、すべての項目について、「公務員・教員」が特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は若松区(92.5%)で最も高く、次いで八幡西区(89.8%)、小倉南区(89.1%)と続いている。また、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は小倉南区(78.9%)で最も高く、門司区(59.7%)で最も低く、その差は19.2ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は今年度(88.4%)と平成26年度(87.9%)でほぼ同水準であった。一方、「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は今年度(79.2%)が平成26年度(80.3%)を多少下回り、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」も今年度(70.4%)が平成26年度(74.3%)を下回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 子供達の入学や出産の祝金、ご遺族への見舞金、募金活動等
- ・ 市民センターの行事
- ・ 買い物バスの運行
- ・ 老人会の食事会

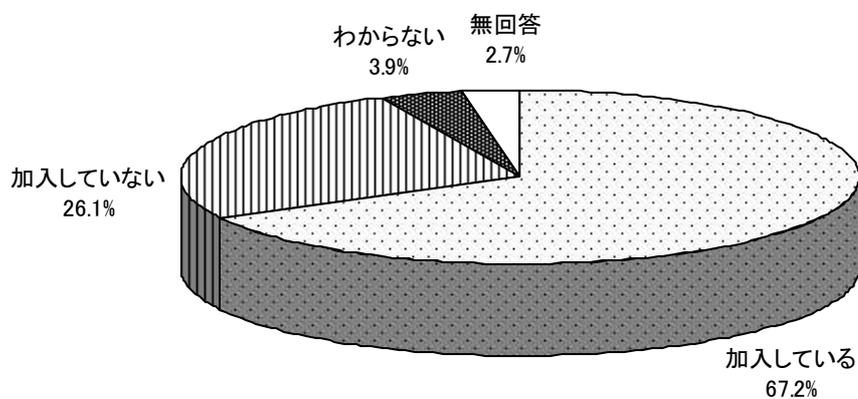
③ 自治会・町内会への加入状況

問5 あなた（あなたの世帯）は、自治会・町内会に、加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,201 人

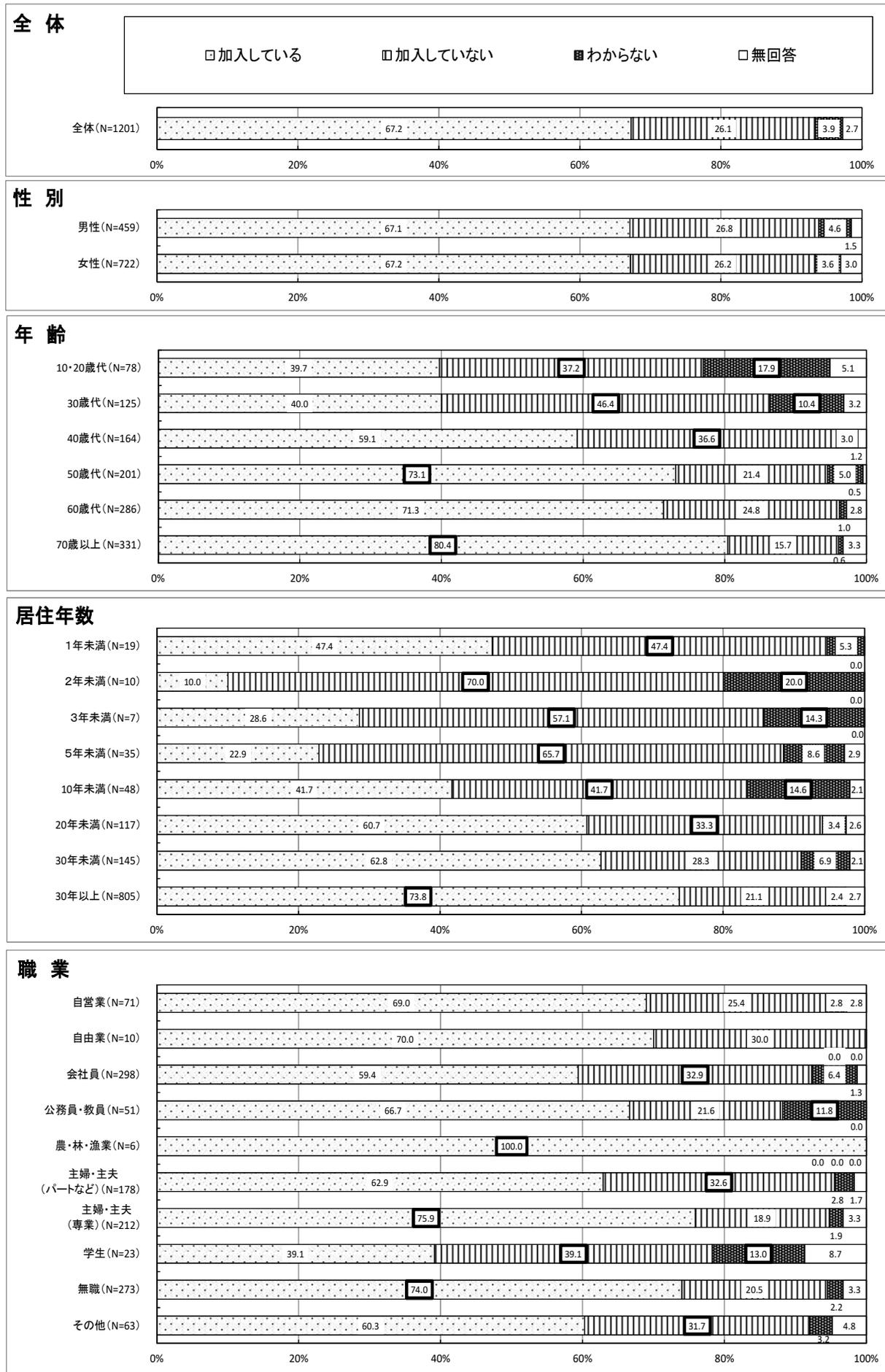
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 加入している	807	67.2
2 加入していない	314	26.1
3 わからない	47	3.9
無回答	33	2.7

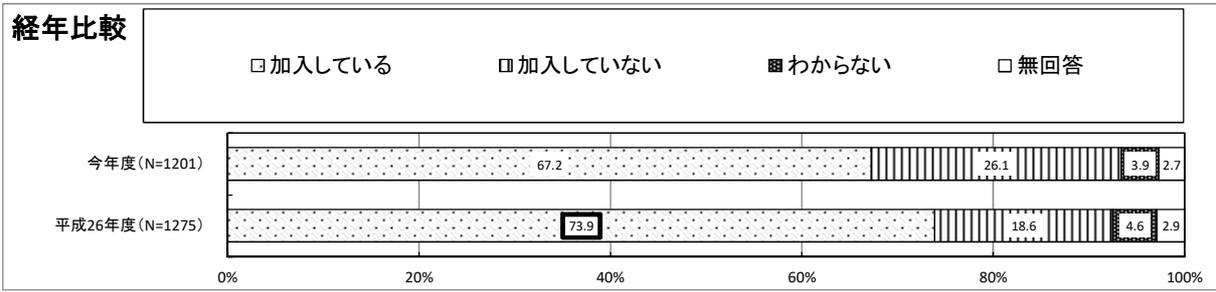
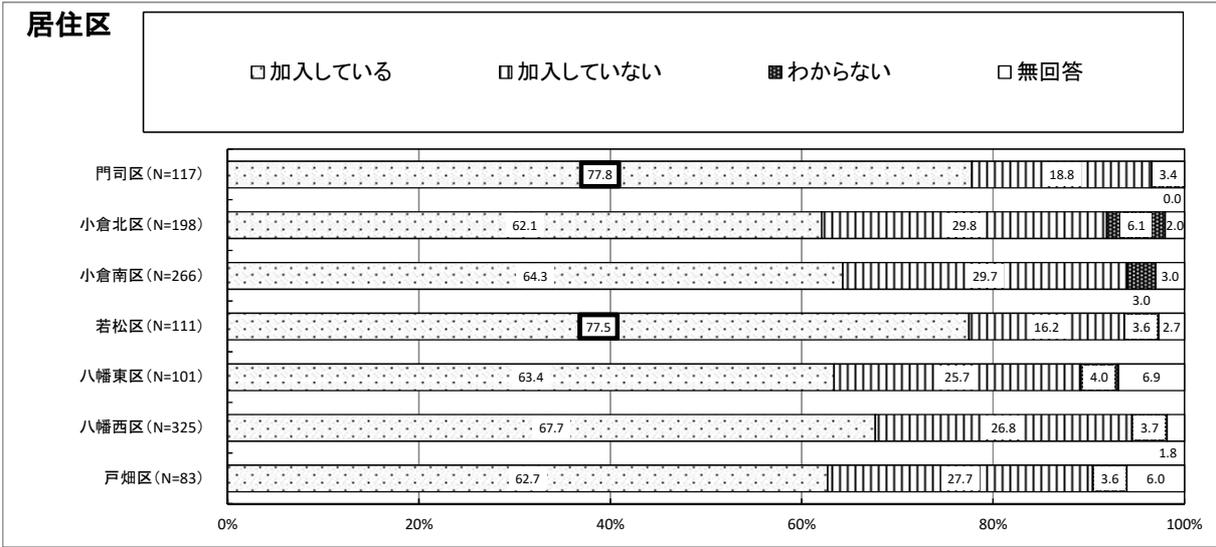
- ◇ 自治会・町内会への加入状況は、
 1位 「加入している」(67.2%)
 2位 「加入していない」(26.1%)



□ 加入している □ 加入していない ■ わからない □ 無回答

③ 自治会・町内会への加入状況





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

自治会・町内会への加入状況

【全体的傾向】

自治会・町内会への加入状況は「加入している」(67.2%)が「加入していない」(26.1%)を大きく上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、30歳代では「加入していない」(46.4%)が「加入している」(40.0%)を上回っている。一方、それ以外の層では「加入している」が「加入していない」を上回っており、50歳代(73.1%)及び70歳以上(80.4%)で特に高くなっている。
- 居住年数別でみると、2年未満及び5年未満では「加入していない」が「加入している」を上回ったのに対し、20年未満以上の層では「加入している」が「加入していない」を上回っている。また、1年未満及び10年未満では「加入している」と「加入していない」が同率となった。
- 職業別にみると、「加入している」は主婦・主夫(専業)(75.9%)及び無職(74.0%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「加入している」は門司区(77.8%)及び若松区(77.5%)で高かったのに対し、「加入していない」は小倉北区(29.8%)及び小倉南区(29.7%)で高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「加入している」は今年度(67.2%)が平成26年度(73.9%)を下回っている。一方、「加入していない」は今年度(26.1%)が平成26年度(18.6%)を上回っている。

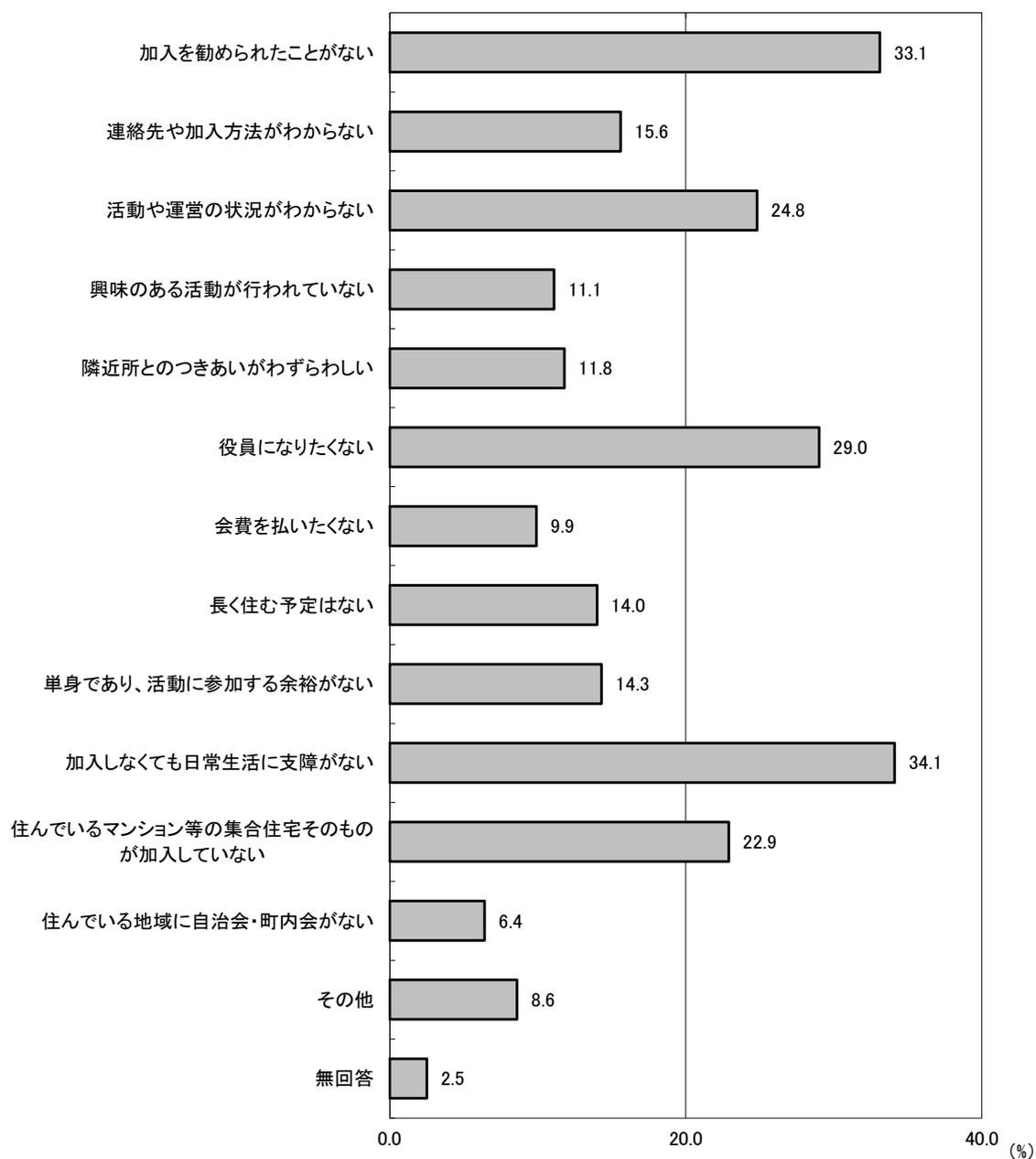
④ 自治会・町内会に加入していない理由

副問5-1 問5で「2」を選んだ理由について、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

N : 314人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 加入を勧められたことがない	104	33.1
2 連絡先や加入方法がわからない	49	15.6
3 活動や運営の状況がわからない	78	24.8
4 興味のある活動が行われていない	35	11.1
5 隣近所とのつきあいがわずらわしい	37	11.8
6 役員になりたくない	91	29.0
7 会費を払いたくない	31	9.9
8 長く住む予定はない	44	14.0
9 単身であり、活動に参加する余裕がない	45	14.3
10 加入しなくても日常生活に支障がない	107	34.1
11 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	72	22.9
12 住んでいる地域に自治会・町内会がない	20	6.4
13 その他	27	8.6
無回答	8	2.5

- ◇ 自治会・町内会に加入していない理由は、
- 1位 「加入しなくても日常生活に支障がない」(34.1%)
 - 2位 「加入を勧められたことがない」(33.1%)
 - 3位 「役員になりたくない」(29.0%)



④ 自治会・町内会に加入していない理由

		サンプル数	加入を勧められたことがない	連絡先や加入方法がわからない	活動や運営の状況がわからない	興味のある活動が行われていない	隣近所とのつきあいがわずらわしい	役員になりたくない	会費を払いたくない	長く住む予定はない	単身であり、活動に参加する余裕がない	加入しなくても日常生活に支障がない	住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	住んでいる地域に自治会・町内会がない	その他	無回答
全体		314	33.1	15.6	24.8	11.1	11.8	29.0	9.9	14.0	14.3	34.1	22.9	6.4	8.6	2.5
性別	男性	123	35.8	13.8	29.3	10.6	16.3	31.7	6.5	10.6	15.4	32.5	17.1	5.7	8.1	2.4
	女性	189	31.7	16.4	22.2	11.6	8.5	27.5	12.2	16.4	13.8	35.4	27.0	6.9	9.0	2.6
年齢別	10・20歳代	29	55.2	48.3	55.2	6.9	6.9	13.8	24.1	34.5	27.6	27.6	6.9	0.0	6.9	0.0
	30歳代	58	48.3	27.6	34.5	3.4	3.4	25.9	19.0	31.0	17.2	27.6	24.1	10.3	10.3	3.4
	40歳代	60	30.0	11.7	25.0	18.3	18.3	38.3	11.7	6.7	10.0	40.0	26.7	6.7	8.3	3.3
	50歳代	43	27.9	9.3	11.6	11.6	20.9	27.9	2.3	4.7	9.3	30.2	25.6	7.0	9.3	0.0
	60歳代	71	23.9	5.6	19.7	14.1	9.9	29.6	5.6	7.0	19.7	40.8	25.4	4.2	7.0	2.8
	70歳以上	52	25.0	7.7	15.4	9.6	9.6	30.8	1.9	9.6	5.8	32.7	21.2	7.7	9.6	3.8
居住年数別	1年未満	9	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
	2年未満	7	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	3年未満	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	5年未満	23	47.8	26.1	30.4	4.3	13.0	21.7	17.4	30.4	21.7	26.1	26.1	4.3	4.3	4.3
	10年未満	20	40.0	25.0	25.0	10.0	15.0	25.0	20.0	40.0	10.0	30.0	45.0	5.0	0.0	0.0
	20年未満	39	33.3	15.4	23.1	10.3	10.3	30.8	12.8	5.1	7.7	35.9	20.5	7.7	15.4	2.6
	30年未満	41	34.1	26.8	34.1	12.2	4.9	22.0	12.2	9.8	22.0	29.3	24.4	4.9	9.8	0.0
	30年以上	170	28.2	9.4	23.5	13.5	13.5	35.3	7.1	7.1	13.5	37.1	20.6	7.1	9.4	2.4
	職業別	自営業	18	16.7	0.0	11.1	16.7	5.6	27.8	5.6	11.1	16.7	33.3	11.1	5.6	22.2
自由業		3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
会社員		98	46.9	25.5	37.8	5.1	14.3	22.4	12.2	17.3	23.5	28.6	17.3	6.1	3.1	3.1
公務員・教員		11	9.1	27.3	18.2	9.1	27.3	36.4	0.0	18.2	27.3	36.4	36.4	0.0	9.1	0.0
農・林・漁業		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主婦・主夫(パートなど)		58	22.4	6.9	12.1	20.7	8.6	36.2	12.1	13.8	6.9	34.5	29.3	8.6	12.1	0.0
主婦・主夫(専業)		40	32.5	15.0	22.5	12.5	10.0	32.5	15.0	20.0	0.0	37.5	22.5	5.0	12.5	2.5
学生		9	66.7	55.6	55.6	11.1	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
無職		56	25.0	8.9	16.1	10.7	8.9	33.9	3.6	5.4	12.5	39.3	26.8	8.9	5.4	3.6
その他		20	40.0	5.0	30.0	10.0	15.0	25.0	5.0	10.0	20.0	40.0	40.0	5.0	15.0	5.0
居住区別	門司区	22	50.0	18.2	27.3	4.5	13.6	27.3	13.6	0.0	18.2	27.3	18.2	4.5	4.5	0.0
	小倉北区	59	30.5	22.0	35.6	6.8	11.9	16.9	3.4	18.6	16.9	39.0	28.8	6.8	5.1	1.7
	小倉南区	79	35.4	16.5	21.5	16.5	12.7	32.9	12.7	20.3	16.5	31.6	20.3	1.3	7.6	6.3
	若松区	18	27.8	5.6	11.1	5.6	16.7	22.2	11.1	5.6	27.8	38.9	5.6	5.6	5.6	0.0
	八幡東区	26	26.9	7.7	15.4	11.5	19.2	34.6	3.8	7.7	7.7	30.8	23.1	11.5	11.5	0.0
	八幡西区	87	32.2	12.6	21.8	12.6	10.3	33.3	10.3	9.2	11.5	34.5	24.1	11.5	10.3	1.1
	戸畑区	23	30.4	21.7	39.1	8.7	0.0	30.4	17.4	26.1	4.3	34.8	30.4	0.0	17.4	4.3
経年比較																
平成26年度	全体	237	35.4	14.3	19.8	13.5	10.5	28.7	9.3	11.0	11.4	28.7	25.3	6.3	8.9	3.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

自治会・町内会に加入していない理由

【全体的傾向】

自治会・町内会に加入していない理由は「加入しなくても日常生活に支障がない」(34.1%)が最も高く、次いで「加入を勧められたことがない」(33.1%)、「役員になりたくない」(29.0%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、10・20歳代及び30歳代では「加入を勧められたことがない」、「活動や運営の状況がわからない」が他の年齢層よりも高くなっている。また、40歳代では、「加入しなくても日常生活に支障がない」(40.0%)及び「役員になりたくない」(38.3%)、60歳代では「加入しなくても日常生活に支障がない」(40.8%)が特に高くなっている。
- 居住年数別にみると、5年未満では、「加入を勧められたことがない」(47.8%)が最も多く、次いで「活動や運営の状況がわからない」及び「長く住む予定はない」(ともに30.4%)が同率で続いた。一方、30年以上では、「加入しなくても日常生活に支障がない」(37.1%)が最も多く、次いで「役員になりたくない」(35.3%)と続いている。
- 職業別にみると、「加入しなくても日常生活に支障がない」は無職(39.3%)で特に高く、「加入を勧められたことがない」は会社員(46.9%)、「役員になりたくない」は公務員・教員(36.4%)及び主婦・主夫(パートなど)(36.2%)で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「加入を勧められたことがない」は門司区(50.0%)で最も高く、八幡東区(26.9%)で最も低く、その差は23.1ポイントとなっている。また、「活動や運営の状況がわからない」は戸畑区(39.1%)で最も高く、若松区(11.1%)で最も低く、その差は28.0ポイントとなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「加入しなくても日常生活に支障がない」は今年度(34.1%)が平成26年度(28.7%)を大きく上回ったのに対し、「加入を勧められたことがない」は今年度(33.1%)が平成26年度(35.4%)を下回っている。また、「役員になりたくない」は今年度(29.0%)と平成26年度(28.7%)でほぼ同水準であった。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 子供がおり、参加する余裕がない
- ・ 仕事をしており、参加している余裕はない
- ・ 市政だよりの配布以外で具体的な地域活動が見られない
- ・ 引越ししてきたばかりのため
- ・ 子どもが中学生になり子ども会を退会したため

(3) 住民主体によるまちづくりについて

① 住民主体によるまちづくりの必要性に対する認識

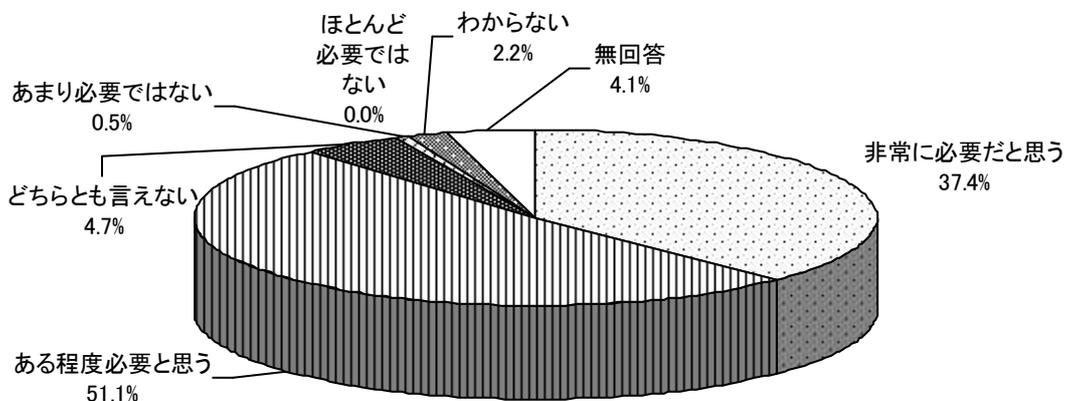
問6 高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動が市内各地で行われていますが、あなたはこのような住民主体によるまちづくりは必要と思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,201 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 非常に必要だと思う	449	37.4
2 ある程度必要と思う	614	51.1
3 どちらとも言えない	57	4.7
4 あまり必要ではない	6	0.5
5 ほとんど必要ではない	0	0.0
6 わからない	26	2.2
無回答	49	4.1

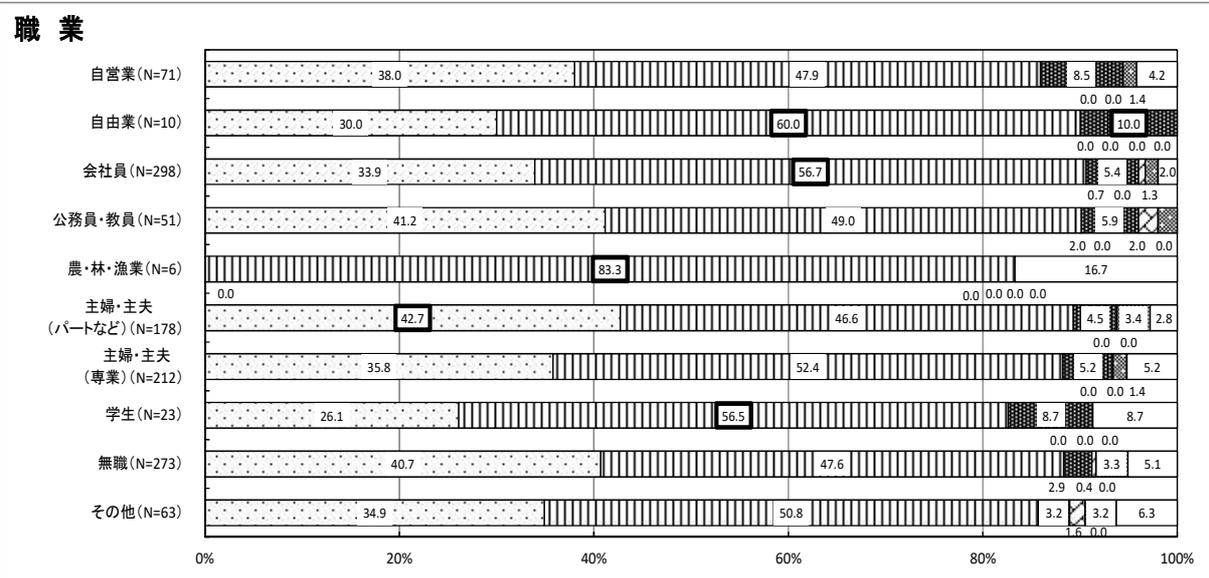
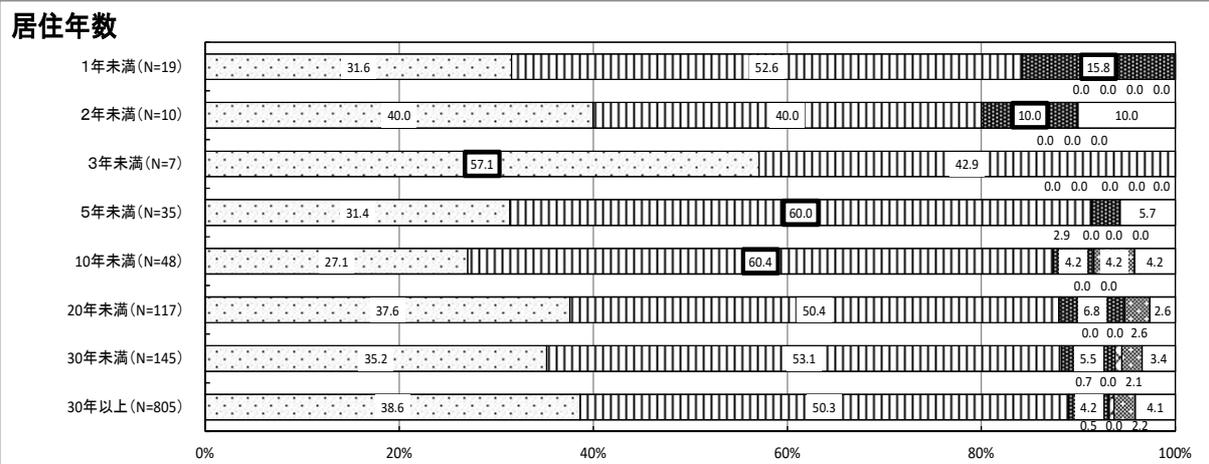
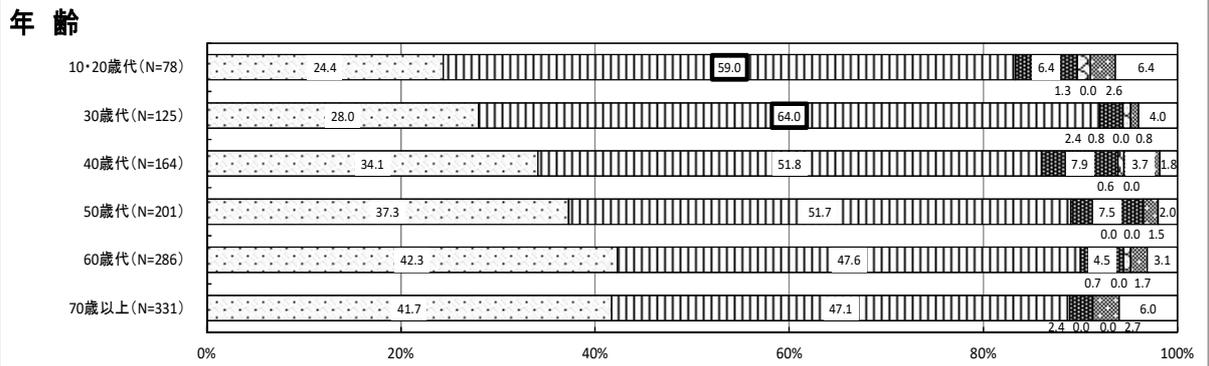
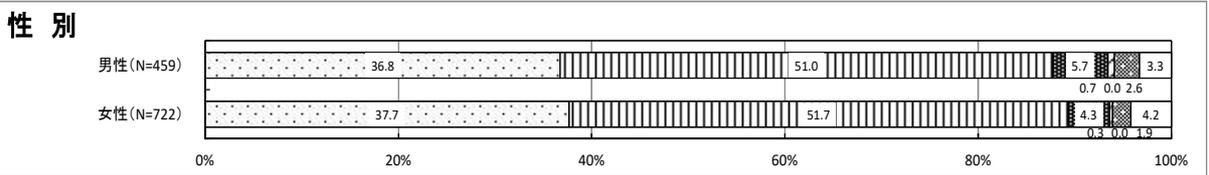
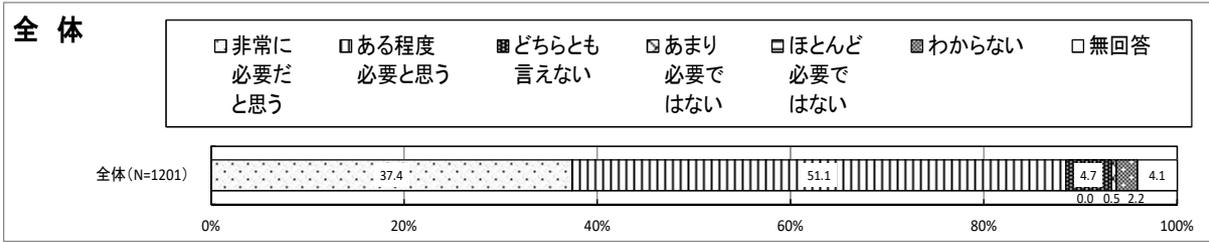
◇ 住民主体によるまちづくりの必要性に対する認識は、

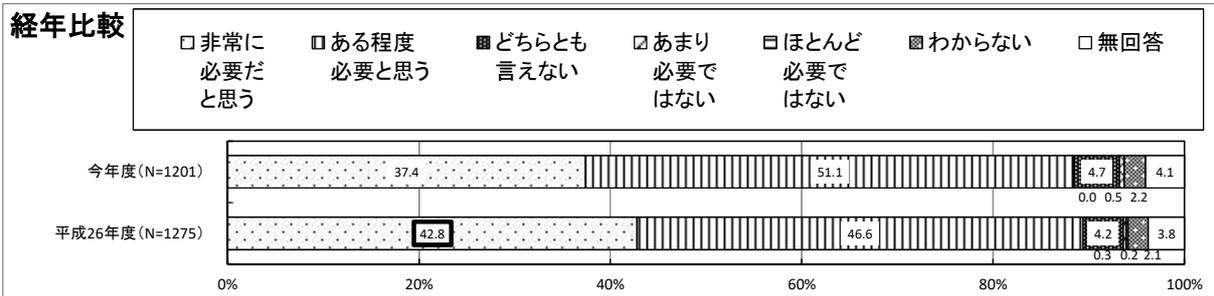
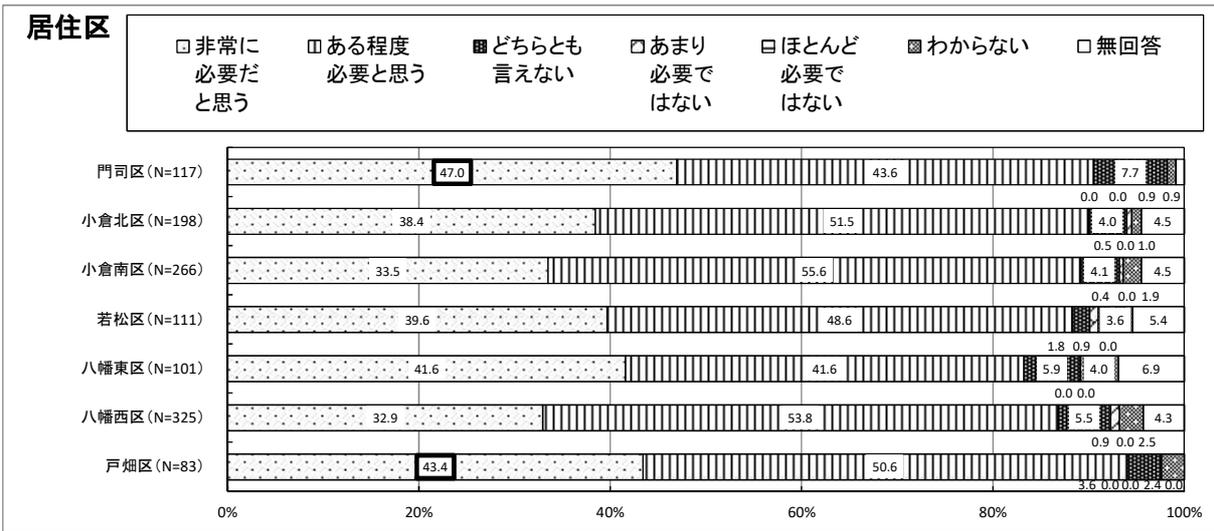
- ・ 肯定層 88.5%
 (「非常に必要だと思う」37.4%+「ある程度必要と思う」51.1%)
- ・ 否定層 0.5%
 (「あまり必要ではない」0.5%+「ほとんど必要ではない」0.0%)



非常に必要だと思う
 ある程度必要と思う
 どちらとも言えない
 あまり必要ではない
 ほとんど必要ではない
 わからない
 無回答

① 住民主体によるまちづくりの必要性に対する認識





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)